

平成 2 9 年 度
事 業 報 告

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

目 次

頁

会務報告

1 会員数	1
2 各種会議開催状況	1
3 各種委員等就任状況	3
4 会員の表彰	7
5 会員の物故	9
6 厚生労働省、日薬等の会議参加状況	9
会員の動向	11

事業報告

I 公益目的事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	12
2 児童・生徒等に関する事業	17
3 医薬品適正使用に関する事業	21
4 医療安全に関する事業	27
5 公衆衛生に関する事業	29
6 地域医療に関する事業	31
7 災害時医療救護活動に関する事業	40

II 法人組織運営に関すること

1 総会、理事会等開催など	41
2 組織強化と財務の健全化	45
3 会員管理	45

III 共益事業

1 薬剤師の生涯学習の推進	47
2 リスクマネジメントシステムの充実	53
3 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及	55
4 会誌「薬壺」発行事業	55
5 会員向けホームページ、メールマガジンの充実	55

IV 収益事業

1 会議室等賃貸業	56
2 書籍等販売業	56
3 当保健センターの修繕等	56

神奈川県薬剤師研修協議会事業	56
----------------	----

参考資料

平成29年度会議室利用状況	57
平成29年度神奈川県薬剤師会事業計画	58
平成29年度神奈川県薬剤師会事業体系図	59
神奈川県薬剤師会組織図	61
平成29年度神奈川県薬剤師会委員会 委員名簿	62

会 務 報 告

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

1. 会員数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

会員総数 4, 639 人 (対前年 111 人減)	第 1 種会員	2, 521 人 (対前年	48 人減)
	第 2 種会員	1, 734 人 (対前年	54 人減)
	第 3 種会員	61 人 (対前年	3 人増)
	賛助会員	313 人 (対前年	11 人減)
	名誉・有功会員	10 人 (対前年	1 人減)

<11 頁参照>

2. 各種会議開催状況

(1) 総 会 2 回

①平成 29 年度通常総会

日 時：平成 29 年 6 月 18 日 (日) 13:00～17:55

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 1 階 多目的ホール

出席者：出席者 67 名、委任状 6 名、書面表決 1 名、合計 74 名

報告事項：報告第 1 号 平成 28 年度事業報告について

報告第 2 号 平成 29 年度事業計画の一部変更について

報告第 3 号 日本薬剤師会第 88 回臨時総会について

審議事項：議案第 1 号 平成 28 年度収支決算の承認について

議案第 2 号 代議員選挙管理委員会委員の指名について

議案第 3 号 理事の選任について

理事及び監事選挙規則第 8 条に基づき、選挙を行うこととした。結果は、過半数を超えた 25 名が当選。

議案第 4 号 監事の選任について

立候補者は 2 名で、定款第 20 条における定数以内となったため、投票は行わず、当選としてよいか諮られ、賛成挙手が過半数以上であったため、石井理美候補、種綿敏雄候補が当選となった。

②平成 29 年度臨時総会

日 時：平成 30 年 3 月 4 日 (日) 13:00～16:01

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 1 階 多目的ホール

出席者：出席者 65 名、委任状 4 名、書面表決 6 名、合計 75 名

審議事項：議案第 1 号 平成 30 年度事業計画について

議案第 2 号 平成 30 年度収支予算について

議案第 3 号 平成 30 年度借入金最高限度額について

いずれも賛成多数により原案通り可決された。

議案第 4 号 名誉会員の承認について

賛成多数により原案通り可決された。

(2) 理事会 7 回 (5/18, 6/18, 7/6, 9/28, 11/9, 12/14, 2/1)

(3) 常務理事会 24 回

(4/6, 4/27, 5/11, 5/25, 6/8, 6/15, 7/6, 7/20, 8/3, 8/24, 9/7, 9/21, 10/5, 10/26, 11/9, 11/24, 12/1, 12/14, 1/11, 1/25, 2/8, 2/22, 3/1, 3/15)

(4) 監査会 2 回 (本監査 5/15, 中間監査会 11/14)

(5) 地域・職域薬剤師会 会長協議会 4回

開催日	講演内容等
第1回 (4/13)	神奈川県薬剤師会における各種委員会活動について ①広報出版委員会 ②公衆衛生・学薬委員会 ③生涯学習委員会
第2回 (7/27)	①「生物由来製品感染等被害救済制度について」 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 健康被害救済部調査第二課 課長補佐 瀬戸 宏格 氏 ②「神奈川県薬剤師会における今後の事業展開等について」 神奈川県薬剤師会 会長 鶴飼 典男
第3回 (11/24)	「神奈川県栄養士会について ～これから連携していくにあたり～」 公益社団法人神奈川県栄養士会 会 長 濱谷 由美子 氏 常任理事（地域活動事業部会長 栄養ケア・ステーション委員長） 長谷川利希子 氏 意見交換：①薬と健康の週間事業で行ったイベントについて ②くすりと健康相談薬局について
第4回 (2/15)	「平成30年度調剤酬改定について」 公益社団法人日本薬剤師会 副会長 森 昌平 氏

(6) 委員会

- ①倫理委員会 3回 (8/31, 12/25, 2/23)
- ②総務委員会 4回 (5/9, 9/13, 11/1, 1/17)
- ③広報出版委員会 6回 (4/5, 6/7, 8/2, 10/4, 12/6, 2/14)
- ④生涯学習委員会 5回 (5/25, 7/20, 9/21, 12/1, 2/23)
 - ・研修企画・運営小委員会 8回 (4/6, 7/8, 8/3, 9/21, 10/5, 10/26, 12/26, 2/23)
 - ・認定薬剤師認定小委員会 7回 (4/20, 7/20, 8/24, 9/21, 10/26, 2/23, 3/22)
 - ・外部評価小委員会 1回 (3/16)
- ⑤医療・介護保険委員会 4回 (7/20, 9/7, 11/16, 3/15)
 - ・薬薬連携研究小委員会 1回 (4/27)
 - ・服薬指導管理・情報提供小委員会 1回 (4/27)
 - ・在宅小委員会 3回 (4/27, 11/16, 3/15)
- ⑥公衆衛生・学薬委員会 5回 (4/20, 8/3, 10/5, 12/8, 3/1)
- ⑦地域保健委員会 5回 (4/12, 6/26, 10/16, 12/13, 1/30)
- ⑧リスクマネジメント委員会 4回 (5/11, 8/3, 9/21, 2/22)
 - ・安全管理対策小委員会 2回 (6/8, 3/5)
 - ・調剤事故対策小委員会 3回 (6/1, 10/19, 2/1)
 - ・リスクマネジメント小委員長会 2回 (7/13, 8/22)
 - ・調剤事故検討会 1回 (2/22)
- ⑨学術大会実行委員会 5回 (5/23, 7/31, 10/13, 12/12, 2/27)
- ⑩実務実習委員会 3回 (8/2, 12/8, 2/8)
- ⑪代議員選挙管理委員会 2回 (11/14, 12/21)
- ⑫総会議事運営委員会 2回 (4/27, 1/25)
- ⑬医薬品適正使用検討委員会 0回
- ⑭災害対策検討委員会 2回 (12/1, 3/15)
- ⑮くすりと健康相談薬局運営協議会 4回 (4/3, 8/1, 10/26, 2/8)
- ⑯公益法人運営特別会費検討委員会 2回 (6/1, 9/7)

(7) その他会議

①正副会長会 17 回

(4/6, 5/11, 5/25, 6/8, 6/22, 7/6, 8/3, 8/24, 9/7, 10/5, 10/26, 11/9, 11/24, 12/14, 1/11, 2/22, 3/15)

②春秋会

日 時：7/13（木） 15：00～16：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階会議室

出席者：13 名（名誉会員 2 名、有功会員 3 名、執行役員 8 名）

③日薬・県薬各委員会等との意見交換会

日 時：8/25（金） 18：00～21：00

会 場：横浜ベイホテル東急

出席者：46 名（外部委員 7 名、日薬委員 12 名、県薬委員・役員 25 名、顧問弁護士等 2 名）

④神奈川県総合薬事保健センター入居団体会議

日 時：10/25（水） 15：00～16：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階会議室

出席者：10 団体

⑤会長賞等選考審査会

日 時：11/24（金） 17：00～18：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 2 階役員会議室

出席者：10 名（執行役員 8 名）

⑥薬業団体新年賀詞交換会

日 時：1/12（金） 15：00～16：30

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：130 名（うち来賓黒岩知事ほか 50 名）

⑦県保健福祉局との連絡会

日 時：2/9（金） 15：30～16：30

会 場：波止場会館 会議室

出席者：23 名（県保健福祉局 13 名、県薬執行役員 10 名）

⑧県薬務課との連絡会議

日 時：2/9（金） 16：30～17：15

会 場：波止場会館 会議室

出席者：18 名（県薬務課 8 名、県薬執行役員 10 名）

⑨委員会奨励賞審査会

日 時：3/15（木） 16：30～17：30

会 場：2 階役員会議室

出席者：12 名（県薬執行役員 10 名）

3. 各種委員等就任状況

《公的委員》

(H30. 3. 31 現在)

№	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川部会	鶴飼会長	委員	局長	厚生労働省 関東信越厚生局

№	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
2	県医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤常務	委員	知事	県国際課
3	かながわ地球環境保全推進会議	河野センター長	監事	知事	県環境計画課
4	かながわ地球環境保全推進会議 県民部会	向井理事	部会員	知事	県環境計画課
5	県医療審議会	鵜飼会長	委員	知事	県医療課
6	県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	知事	県健康危機管理課
7	県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	知事	県医療課
8	県医療安全推進協議会	橋本副会長	委員	知事	県医療課
9	県医療安全対策事業実行委員会	橋本副会長	委員	知事	県医療課
10	県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	知事	県医療保険課
11	県エイズ対策推進協議会	金子理事	運営委員	知事	県健康危機管理課
12	災害時医療救護対策部会 医療救護体制部会	後藤副会長	構成員	知事	県健康危機管理課
13	災害時医療救護対策部会 ロジスティック部会	寺師理事	構成員	知事	県健康危機管理課
14	かながわ健康プラン 21 推進会議及びがん克服県民会議	小川副会長	委員	知事	県健康増進課
15	医食農同源研究会 (漢方理解促進等検討部会委員も兼務)	坂本理事	委員	知事	県健康増進課
16	県認知症対策推進協議会	佐藤理事	委員	知事	県高齢社会課
17	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	長津常務	委員	知事	県高齢社会課
18	県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会	河野センター長	委員	知事	県保健予防課
19	県自然環境保全審議会温泉部会	夏目理事	委員	知事	県生活衛生課
20	県薬事審議会	鵜飼会長	副会長	知事	県薬務課
21	県献血推進協議会	金子理事	委員	知事	県薬務課
22	県薬物乱用対策推進本部 本部会	鵜飼会長	本部員	知事	県薬務課
23	県薬物乱用対策推進本部 青少年・啓発部会	高橋理事	部会員	知事	県薬務課
24	県後発医薬品使用促進協議会	後藤副会長	委員	知事	県薬務課
25	県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策推進協議会	鵜飼会長	委員	会長	県保健体育課
26	県学校給食特別優良学校現地審査会	金丸常務	委員	知事	県保健体育課

№	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
27	県学校給食表彰審査会	金丸常務	委員	知事	県保健体育課
28	県学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）に係る選考委員会	鵜飼会長	委員	知事	県保健体育課
29	県健康推進学校表彰審査会	嶋理事	委員	知事	県保健体育課
30	ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議	鵜飼会長	構成員	知事	県オリンピック・パラリンピック課
31	県国民健康保険診療報酬審査委員会	今井理事 佐藤理事 阿部理事 泉 紀久恵 福嶋 仁 飯田 純一 依田 啓司	審査委員	理事長	国保連合会
32	県国民健康保険運営委員会	後藤副会長	委員	知事	県医療保険課
33	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部 診療報酬請求書審査委員会	長津常務 常盤 孝司 花島 邦彦	審査委員	支部長	診療報酬 支払基金
34	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部 幹事会	鵜飼会長	参与	支部長	診療報酬 支払基金
35	「マイ ME-BYO カルテ」の災害活用に係る勉強会	後藤副会長	委員	知事	県ヘルスケア・ニューフロン ティア推進本部室

《民間団体委員》

№	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
36	(公社)日本薬剤師会 組織・会員委員会	山形理事	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
37	(公社)日本薬剤師会 医療保険委員会	小川副会長	委員長	会長	(公社) 日本薬剤師会
38	(公社)日本薬剤師会 地域医療・保健委員会	長津常務	委員長	会長	(公社) 日本薬剤師会
39	(公社)日本薬剤師会 編集委員会	尾鳥 勝也	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
40	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方委員会	八木多佳子	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
41	(公社)日本薬剤師会 生涯学習委員会	厚田幸一郎	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
42	(公社)日本薬剤師会 薬学教育委員会	戸田 潤 片山 周也	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
43	(公社)日本薬剤師会 薬剤師倫理規定の見直しに関する特別委員会	高橋 洋一	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
44	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会	竹内常務	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
45	(公社)日本薬剤師会 健康サポート研修委員会	長津常務	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会

N o	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
46	(公社)日本薬剤師会 医薬品情報評価検討会	菅野理事	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
47	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討委員会	増原 慶壮 笠原 英城	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
48	(公社)日本薬剤師会 薬局薬剤師部会	花島 邦彦	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
49	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	高柳 栄郎 香川 貴則	幹事	会長	(公社) 日本薬剤師会
50	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会ワーキンググループ	神原 大輔 田口 真穂	委員	会長	(公社) 日本薬剤師会
51	日本薬剤師国民年金基金	平塚久美子	代議員	理事長	日本薬剤師 国民年金基金
52	県立こども医療センター地域医療支援事業運営委員会	寺師理事	委員	総長	県立こども医療 センター
53	県がん診療連携協議会 地域連携クリティカルパス部会	向井理事	委員	総長	県立がん センター
54	県立保健福祉大学を支援する会	井上専務	理事	会長	県立保健福祉 大学
55	県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	金丸常務	委員	会長	横浜市大 付属病院
56	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	鵜飼会長	委員	会長	県青少年課
57	県公衆衛生協会	鵜飼会長	理事	会長	県健康増進課
58	スモークフリー推進かながわ基金 運営委員	金子理事	委員	会長	県がん対策課
59	薬物クリーンかながわ推進会議	鵜飼会長	会長	会長	県薬務課
60	薬物クリーンかながわ推進会議 運営委員会	小川副会長	委員	会長	県薬務課
61	県立学校保健会	牛腸理事	理事	会長	県立学校保健会
62	保健に関する実践記録・調査研究作品表彰審査会	金子理事	委員	会長	県立学校保健会
63	県学校保健連合会	鵜飼会長 小川副会長 金丸常務 金子理事	副会長 理事 評議員 評議員	会長	県学校保健 連合会
64	県学校保健連合会 学校薬剤師部会	鵜飼会長	部会長	会長	県学校保健 連合会
65	県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	坂本理事	委員	会長	県社会福祉 協議会
66	禁煙、分煙を推進する神奈川会議	今井理事	副会長	会長	県予防医学協会
67	県医師会災害救助対策委員会	寺師理事	委員	会長	県医師会
68	県糖尿病対策推進会議 幹事会	唐澤常務	幹事	会長	県医師会

№	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
69	在宅医療トレーニングセンター運営協議会	井上専務	委員	会長	県医師会
70	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	小宮 賢一 嶋理事 小川 亮子	副会長 幹事 幹事	会長	県医師会
71	県在宅歯科医療連携室整備事業推進協議会	山形理事	委員	会長	県歯科医師会
72	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤常務	委員	会長	県歯科医師会
73	県保険者協議会	小川副会長	委員	理事長	国保連合会
74	県保険者協議会 事業検討委員会	長津常務	委員	理事長	国保連合会
75	(公財)かながわ健康財団 評議員会	鵜飼会長	評議員	理事長	(公財)かながわ健康財団
76	(公財)かながわ健康財団 がん対策推進会議	伊藤常務	委員	会長	(公財)かながわ健康財団
77	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	高橋事務局長	委員	会長	(公財)かながわ健康財団
78	がん克服シンポジウム実行委員会	寺師理事	委員	理事長	(公財)かながわ健康財団
79	(一財)北里環境科学センター 評議員会	竹内常務	評議員	理事長	(一財)北里環境科学センター
80	(一社)薬学教育評価機構 評価委員会	鵜飼会長 花島 邦彦	評価 実施員	理事長	薬学教育 評価機構
81	県医療勤務環境改善支援センター検討会	岩出理事	委員	労働局 長	神奈川労働局

4. 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

①神奈川県薬剤師会

ア 会長賞 (個人) [1/14]

佐々木正昭 (相模原市)

夏目 芳夫 (小田原市)

宮崎 美子 (病診)

イ 会長賞 (団体) [1/14]

該当なし

ウ 有功賞 [1/14]

長田 進 (鎌倉市)

堀川 忠康 (金沢区)

木村美代子 (港南区)

諸星 明美 (西区)

川上 慶子 (大和市)

川崎 淑江 (茅ヶ崎市)

永吉 浩子 (鎌倉市)

蛭田 啓子 (保土ヶ谷区)

足立 京子 (小田原市)

福島 雄一 (平塚市)

山方 正枝 (保土ヶ谷区)

江口 尚良 (川崎区)

長野 曜子 (小田原市)

井上 隆子 (茅ヶ崎市)

エ 委員会奨励賞 [3/22]

尾形真美子 (有限会社すずらん薬局センター北店)

北代 玲子 (株式会社わかば パンダ薬局)

森村 茂 (こばやし薬局支店)

②日本薬剤師会

ア 会長賞〔10/8〕

加藤 昇一（中区）

イ 功労賞〔10/8〕

相田 邦彦（松田町）

ウ 有功賞〔伝達表彰 1/14〕

中村 公（相模原市）

須藤 泰男（湯河原町）

加藤 孝子（神奈川区）

西島 邦好（小田原市）

川名 寛（横須賀市）

今村 愛子（多摩区）

川口 雅祥（小田原市）

阿佐見初江（保土ヶ谷区）

小川 紀代（平塚市）

田村 玲子（相模原市）

江口 章子（磯子区）

西方 敏雄（青葉区）

牧野 栄子（藤沢市）

磯崎 瑛子（横須賀市）

細川 圭一（横須賀市）

荒波 浄子（逗子市）

澄川 一尹（中原区）

山田 正明（横須賀市）

坪田 禮子（旭区）

田中 文夫（高津区）

（2）叙勲・大臣表彰

①叙位

ア 従六位（7/10）

飯田 三郎（多摩区）

②叙勲

ア 旭日双光章（秋）

市川 洋一（港北区）

イ 瑞宝双光章（秋）

岡本 義雄（磯子区）

③厚生労働大臣表彰（10/20）

ア 薬事功労

坂本 悟（港北区）

④厚生労働大臣表彰（2/26）

ア 公衆衛生事業功労

寺師三千彦（港南区）

⑤文部科学大臣表彰（11/16）

ア 学校保健及び学校安全

奥村 衣子（相模原市）

（3）県知事表彰

①保健衛生表彰（11/20）

ア 医療関係功労者

石内 正佳（平塚市）

井上 祐子（中井町）

佐藤 康信（磯子区）

田中 充裕（川崎区）

森川 厚子（茅ヶ崎市）

泉 紀久恵（横須賀市）

齋藤 昌久（二宮町）

竹内 尚子（相模原市）

橋本 真也（病診）

山下 耕司（相模原市）

（4）その他各種表彰

①神奈川県公衆衛生協会会長表彰〔11/30〕

佐藤 克哉（相模原市）

②日本公衆衛生協会会長表彰〔2/26〕
井上 雄一（横須賀市）

③学校保健功労者等表彰〔11/14〕
泉 紀久恵（横須賀市）
小川 護（相模原市）
櫻木 章子（小田原市）
山田 節子（相模原市）
渡邊 律子（相模原市）
宇田川治男（座間市）
佐藤志津子（多摩区）
島田 清文（相模原市）
吉田 栄子（泉区）

5. 会員の物故（報告分）

阿部 力（多摩区）	飯田 三郎（多摩区）	稻田 公子（麻生区）
加藤 洋（戸塚区）	川上 明夫（川崎区）	川崎 淑江（茅ヶ崎市）
菅野 宏信（相模原市）	鞍貫 武（宮前区）	斉藤 博昭（逗子市）
嶋崎 亨（中区）	徳永 勲（旭区）	中山 佑子（港北区）
服部 芳枝（横須賀市）	松澤 玄（泉区）	真弓瑠美子（南区）
水谷 準（麻生区）	山岸 治美（宮前区）	山口 八重（鶴見区）
山西 雄三（鶴見区）		

6. 厚生労働省、日薬等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 関東ブロック協議会（第1回） 〈群馬〉	平成29年5月28日・29日	加藤、鶴飼、井上
日薬 関東ブロック協議会（第2回） 〈栃木〉	平成30年2月18日	鶴飼、後藤、小川、長津
日薬 関東・東京ブロック会議 〈千葉〉	平成29年11月26日	後藤、長津、牛腸
日薬 都道府県会長協議会（第1回）	平成29年5月10日	加藤
日薬 都道府県会長協議会（第2回）	平成29年7月12日	後藤
日薬 都道府県会長協議会（第3回）	平成29年10月7日	小川
日薬 都道府県会長協議会（第4回）	平成30年1月18日	橋本
日薬 第89回定時総会	平成29年6月24日・25日	加藤、後藤、小川、唐澤、 竹内、長津
日薬 第90回臨時総会	平成30年3月10日・11日	加藤、後藤、小川、唐澤、 竹内、長津
日薬 薬局実務実習担当者全国会議	平成29年7月30日	久保田、木村
日薬 学校薬剤師部会学校環境衛生検査技術講習会	平成29年9月9日	金子、神原
日薬 生涯学習担当者全国会議	平成29年9月27日	竹内
日薬 健康サポート薬局担当者全国会議	平成29年11月5日	塚本
日薬 「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた担当者合同会議	平成29年11月6日	唐澤、森嶋、林

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 都道府県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者研修会	平成 29 年 11 月 30 日	今井
日薬 研究倫理に関する全国会議	平成 29 年 12 月 8 日	橋本、高橋
日薬 学校薬剤師部会全国担当者会議	平成 30 年 1 月 24 日	金丸、金子
日薬 薬剤師の臨床判断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正な販売等に関する研修会	平成 30 年 2 月 25 日	堀川
日薬 学校薬剤師部会東京・関東ブロック会議 〈栃木担当〉	平成 30 年 3 月 4 日	紫藤、油谷
日薬 平成 30 年度調剤報酬改定等説明会	平成 30 年 3 月 8 日	藤本、福嶋
関東薬事情報センター担当者連絡会議	平成 29 年 12 月 12 日	河野
かかりつけ薬剤師・薬局指導者協議会 (旧 医薬分業指導者協議会)	平成 30 年 2 月 5 日	佐藤、藤本
関東信越厚生局管内 10 都県薬剤師会 社会保険担当者連絡協議会 (茨城)	平成 30 年 2 月 7 日	長津、夏目

会員の動向

<業 種 別 会 員 数>

(H30.3.31現在)

区分	薬 局				店 舗 販 売 業				その他(行政、病院、無職他)					合 計					
	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H27年度	2,540	1,230	310	4,080	38	17	18	73	3	626	—	15	644	2,581	1,873	—	343	13	4,810
H28年度	2,527	1,232	290	4,049	39	15	17	71	3	541	58	17	619	2,569	1,788	58	324	11	4,750
H29年度	2,481	1,206	267	3,954	38	16	14	68	2	512	61	32	607	2,521	1,734	61	313	10	4,639

[会員種別]

I 種：薬局・店舗販売業の経営者・管理者である薬剤師

II 種：第1種会員以外の薬剤師

III 種：満77歳以上の無職の薬剤師

賛 助：薬局・店舗販売業・卸売販売業の非薬剤師経営者

<入 会 者 ・ 退 会 者 数>

区分	入 会 者					退 会 者						増 減					
	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H27年度	194	133	—	10	337	226	144	—	31	1	402	▲ 32	▲ 11	—	▲ 21	▲ 1	▲ 65
H28年度	222	132	0	3	357	229	157	3	25	2	416	▲ 7	▲ 25	▲ 3	▲ 22	▲ 2	▲ 59
H29年度	220	96	0	10	326	244	155	3	34	1	437	▲ 24	▲ 59	▲ 3	▲ 24	▲ 1	▲ 111

●県内店舗数と会員店舗数比較

業種	H29.3月	H30.3月		H28.3月	H29.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率
薬 局	3,825	2,538	66.3%	3,770	2,542	67.4%
店舗販売業	1,403	48	3.4%	1,365	41	3.0%
卸売販売業	576	77	13.4%	583	92	15.8%
薬種商販売業	1	0	0%	1	0	0%
特例販売業	1	0	0%	1	0	0%
配置販売業	232	0	0%	232	0	0%
計	6,038	2,663	44.1%	5,952	2,675	44.9%

※県内店舗数は、H29.3/31及びH28.3/31現在の神奈川県薬務課発行『薬務行政の概要』による。

●県内薬剤師数と会員数比較

業種	H28.12月	H30.3月		H29.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	会員薬剤師数	加入率
薬 局	14,610	3,691	25.3%	3,763	25.8%
病院・診療所	3,430	113	3.3%	111	3.2%
大 学	127	23	18.1%	27	21.3%
医薬品販売業	2,380	138	5.8%	143	6.0%
行 政	410	46	11.2%	46	11.2%
その他業務	402	34	8.5%	36	9.0%
無 職	743	281	37.8%	300	40.4%
計	22,102	4,326	19.6%	4,426	20.0%

※県内薬剤師数は、H28.12/31現在の厚労省届出薬剤師数による。

※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数

I 公益目的事業

1. 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) かながわ薬剤師学術大会の開催

薬学の進歩発展、医療水準の向上等のため、神奈川県病院薬剤師会と共同で、平成 30 年 1 月にパシフィコ横浜において 16 回目となる薬剤師学術大会を開催した。

特別講演は終末期医療をテーマとし、シンポジウムは本大会のサブテーマでもある「活躍の舞台を探る」とし、多方面で活躍する薬剤師を講師に迎えた。市民向けの公開講座及びお薬相談・健康身体測定などを実施した。

①日時：平成 30 年 1 月 14 日（日）9：30～16：30

②大会テーマ：薬剤師ルネサンス～活躍の舞台を探る～

③後援：神奈川県、横浜市健康福祉局

④特別講演：東邦大学医療センター大森病院緩和ケアセンター

センター長 大津 秀一 氏

『緩和医療・終末期医療と期待される薬剤師の役割』

⑤シンポジウム：テーマ「活躍の舞台を探る」

シンポジスト

小竹 慶子 氏（浴風会病院）／仲鉢 英夫 氏（湘南鎌倉総合病院）

後町 陽子 氏（薬剤師／医薬ライター）／長谷川 敦 氏（第一三共㈱）

⑥市民公開講座：国立研究開発法人海洋研究開発機構 柴田 桂 氏

『「しんかい 6500」の秘密と深海の世界』

⑦参加費：会員一事前 3,000 円、当日 4,000 円、一般一事前 5,000 円、当日 6,000 円、
薬学生—1,000 円

⑧ポスター600 枚、リーフレット（大会）11,000 枚、リーフレット（市民公開講座）6,000 枚を作成し、会員薬局宛てに発送。また、病院・薬科大学等に配布した。

⑨大会出席者数：合計 1,411 名（前回 1,504 名）※カッコ内は前回大会の参加者数

ア 神奈川県薬剤師会 ： 747 名（802 名）

イ 神奈川県病院薬剤師会： 647 名（683 名）

ウ 薬学生 ： 17 名（19 名）



《ポスター》

	第 16 回			第 15 回		
	事前	当日	計	事前	当日	計
会員	937	259	1,196	988	296	1,284
一般	96	119	215	89	131	220
合計	1,033	378	1,411	1,077	427	1,504

⑩第 16 回かながわ薬剤師学術大会 優秀賞（敬称略）

ア 口頭発表【2 題】

（ア）保険調剤薬局における健康サポートの実践

薬局で栄養・運動サポートすることで効果はでるのか？

薬樹(株) 薬樹薬局宮前平 2 号店 大貫 ミチ

（イ）有害事象報告の薬薬連携で示された薬剤師としての新たな活躍の舞台

～平塚中郡薬剤師会方式の実証で明らかとなったこと～

東海大学医学部付属大磯病院薬剤科 吉澤 美香 他

イ ポスター発表【4 題】

（ア）薬局が地域包括ケアシステムの中核になる為に必要なIoT、ICT、robotについての考察

(株)矢野調剤薬局 篠川 雅司 他

（イ）緊急手術患者に対する精神科リエゾンチーム早期介入の必要性について

一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院薬局

志熊 亜美 他

（ウ）副作用・アレルギー情報の一元管理システムを活用した薬剤師術前外来の有用性の評価

大和市立病院 薬剤科 荒木 良介 他

（エ）STOPP/START criteria ver.2を用いた持参薬確認時における不適切処方スクリーニング

藤沢市民病院 薬局 江口 智子 他

⑪お薬相談・身体測定・献血実施者数

区分	第 16 回	第 15 回
お薬相談	15	27
血管年齢測定	342	383
骨健康測定	259	353
献血	133（受付 170）	144（受付 180）
計	749 人	907 人

⑫第 16 回かながわ薬剤師学術大会参加

同大会へ本会代表発表として、リスクマネジメント委員会、医療・介護保険委員会、地域保健委員会、公衆衛生・学薬委員会の 4 委員会が口頭発表及びポスターセッションにおいて発表した。

(2) 日本薬剤師会学術大会への参加・発表

日本薬剤師会により東京都で 10 月に開催された学術大会において、公式依頼による分科会発表、また医療・介護保険委員会等の 4 委員会が次のとおり発表した。

①分科会発表

ア 分科会名：薬局における医療安全対策

シンポジウム「神奈川県薬剤師会における医療安全対策への取り組み
～リスクマネジメント委員会の活動について～」
シンポジスト リスクマネジメント委員会委員長

②口頭発表

ア 医療・介護保険委員会

「保険薬局ハンドブック発刊から考える薬剤師会の課題と将来の施策」

イ 地域保健委員会

「セルフメディケーション研修」のアンケート調査から見えるセルフメディケーションに関する薬剤師の意識改革との今後の課題」

ウ 公衆衛生・学薬委員会

「神奈川県立学校における学校環境衛生検査の実施状況報告（平成 28 年度）」

③ポスター発表

ア リスクマネジメント委員会

「公益社団法人神奈川県薬剤師会に於ける薬局プレアボイド活動の実施報告」

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に資するため、県内の薬剤師が行っている研究に対し、平成 24 年度より助成金を交付している。対象者は、本会に設置した選考審査会にて審査のうえ、常務理事会において決定した。（総額 99 万円）

募集期間：平成 29 年 5 月 1 日～6 月 30 日

広報：当会ホームページにて周知

採択補助事業：申請 3 件

- ①アカンプロサートの断酒効果と血中カルシウム濃度の関係性についての検証的研究
- ②地域包括ケアシステム構築において薬局薬剤師が貢献できることとは
- ③調剤業務におけるヒヤリ・ハット事例の分析と解決策の検討

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

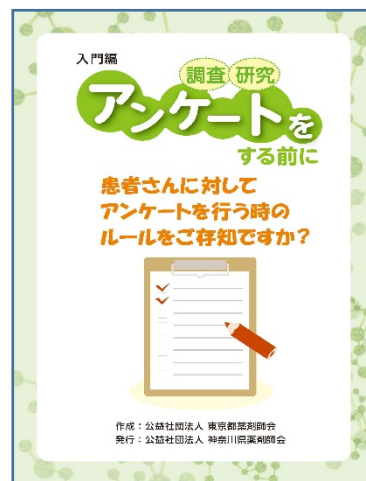
①平成 26 年 12 月の文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針・ガイダンス」の制定・公布を受けて、倫理委員会では「人を対象とする医学・薬学系研究の倫理審査業務手順書」を制定した。

本手順書に基づいて、倫理審査を 5 件実施した。

②研究者向け教育・研修 資材の作成

研究者等に必要の研究に関する倫理及び倫理審査の必要性に関する研修の資材として DVD「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針と薬剤師の研究について」を作成した。

また、冊子「入門編 アンケート（調査・研究）をする前に」を6500部作成し、薬壺3・4月号に同封して全会員に配布した。



(5) 薬学生育成に関する事業

①認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（年1回 2日間）

実務実習において薬学生への質の高い教育の実践するために、高い教育指導能力を有する認定実務実習指導薬剤師の養成のために、(一社)薬学教育協議会で承認されたWSを病院・薬局実務実習関東地区調整機構共催の補助金事業として実施した。

ア 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（神奈川）

日時：平成29年9月17日（日） 9：00～20：30

平成29年9月18日（月・祝）9：00～18：00

会場：横浜薬科大学

受講者：54名（薬局36名：病院12名：大学6名）

②他県薬剤師会実施の認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの視察

認定実務実習指導薬剤師のためのワークショップの円滑な開催を図るため視察を行った。

ア 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（千葉）

日時：平成29年8月19日（土）8：00～20：30

平成29年8月20日（日）8：00～18：00

会場：日本大学薬学部 8号館3階835講義室

オブザーバー参加者：久保田理事、片山、木村、駒井

③認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンストワークショップ（年2回）

認定実務実習指導薬剤師の資格を取得後、実務実習の指導にあたった認定実務実習指導薬剤師に、よりよい実習を継続して頂くために、指導方法や問題点の共有、解決を目的として実施されるAWSの充実を目的として(一社)薬学教育協議会で承認されたアドバンストワークショップを病院・薬局実務実習関東地区調整機構共催の補助事業を実施した。

ア 認定実務実習指導薬剤師アドバンストワークショップ（神奈川）

日時：平成29年6月4日（日）9：00～18：00

会場：昭和薬科大学

受講者数：60名（薬局36名：病院12名：大学6名：NPhA6名）

イ 認定実務実習指導薬剤師アドバンスワークショップ（神奈川）

日時：平成 29 年 11 月 26 日（日）9：00～18：00

会場：昭和薬科大学

受講者数：59 名（薬局 42 名：病院 12 名：大学 5 名）

④他県薬剤師会実施の認定実務実習指導薬剤師養成アドバンスワークショップへの講師派遣

他県薬剤師会からの依頼に応じ、アドバンスワークショップへ講師を派遣した。

ア 認定実務実習指導薬剤師アドバンスワークショップ（東京）

日時：平成 30 年 2 月 12 日（日）9：00～18：00

会場：帝京大学 板橋キャンパス

タスクフォース派遣者：久保田理事、片山、駒井、難波

⑤方略見直し（トライアル）実習説明会（年 2 回）

現行の実習において指導薬剤師が学生を評価する際、実習のパフォーマンスをルックアップ等々で評価する方略について説明会を実施した。

ア 第 1 回方略見直し（トライアル）実習説明会

日時：平成 29 年 8 月 27 日（日）10：00～12：00

会場：神奈川県薬事総合センター

受講資格：平成 28 年度以降のアドバンスワークショップ修了者

受講者数：39 名

イ 第 2 回方略見直し（トライアル）実習説明会

日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）10：00～12：00

会場：神奈川県薬事総合センター

受講資格：認定実務実習指導薬剤師

受講者数：51 名

⑥認定実務実習指導薬剤師更新講習の開催（年 1 回）

薬学教育モデル・コアカリキュラムの主な変更点、薬剤師に求められる基本的な資質についての講習会を実施した。

※更新講習を受講できる者は、認定実務実習指導薬剤師の認定を受けた日から 5 年以上を経過した者

ア 認定実務実習指導薬剤師更新講習会

日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）13：30～15：30

会場：神奈川県薬事総合センター

受講者数：24 名

⑦地域薬剤師会実務実習担当者会議の開催（年２回）

各地域の実務実習担当者に本会事業及び日本薬剤師会や関東地区調整機構からの通知や事業について伝搬し、地域の問題点や課題を共有等するために実施した。

ア 第１回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日時：平成 29 年 9 月 5 日（火） 19：30～21：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階 306・307 会議室

内容：

- ・平成 29 年度第 1 回病院・薬局関東地区調整機構委員会（総会）の報告
- ・平成 29 年度薬局実務実習担当者全国会議の報告
- ・認定実務実習指導薬剤師アドバンスワークショップ実施について
- ・薬学実務実習に関するガイドラインについて（薬学実務実習に関する連絡協議会）
- ・日本薬剤師会 実務実習指導の手引き（改訂版）について
- ・方略見直し実習（トライアル実習）について
- ・質疑応答

イ 第２回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日時：平成 29 年 12 月 8 日（金） 19：30～21：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター 303・304 会議室

内容：

- ・平成 29 年度病院薬局実習関東地区調整機構第 1 回指導薬剤師養成小委員会の報告
- ・平成 29 年度薬局実務実習受入に関する関東ブロック会議の報告
- ・平成 29 年度Ⅱ期トライアル実習アンケート結果報告
- ・質疑応答

2. 児童・生徒等に関する事業

（１）学校環境衛生管理事業

①県立学校の環境衛生検査

「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、県立学校担当学校薬剤師による検査の利便性向上のために寄与した。

ア 学校環境衛生検査（県立学校全 191 校（全日制、定時制、通信制、支援学校等））

イ 県立学校室内空気中化学物質濃度検査（シックハウス検査 13 校）

ウ 県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校 26 校）

②県立学校環境衛生管理業務委託事業（ビル管理事業）

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、神奈川県教育委員会の委託を受け検査を実施した。

ア 第一該当校（空気調和設備等のない学校）68 校

イ 第二該当校（空気調和設備等のある学校）11 校

(2) シンナー等薬物乱用防止啓発事業

神奈川県委託事業として、県下の公立及び私立の小・中・高校生並びに教職員、PTA等を対象に、学校薬剤師が講師となりシンナー等薬物乱用防止啓発講演会等を実施した。

シンナー等薬物乱用防止活動実施状況

区 分	平成 29 年度		平成 28 年度		平成 27 年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	13	3,327	22	5,420	25	7,031
中等教育	—	—	—	—	1	36
一貫校	3	1,771	2	998	—	—
中学校	74	13,029	62	12,217	55	8,753
小学校	153	12,736	160	12,092	120	9,690
P T A 等	2	72	2	310	4	178
計	245	30,935	248	31,037	205	25,688

①小・中・高 学生向け「薬物乱用ダメ！ゼッタイ！」リーフレット作成

小学生向けリーフレットを 20,000 枚作成、また、中高生向けリーフレット等を、薬物乱用防止啓発教室啓発資材として学校薬剤師へ提供した。



<リーフレット A4 三つ折>

②食物アレルギーリーフレット増刷

平成 26 年度に作成した初版を第 2 版として 30,000 枚増刷して会員に配布して周知を図った。



＜リーフレット A4＞

(3) 医薬品適正使用教室の推進

学習指導要領の改正に伴い、平成 24 年度より中学校の保健体育に「くすり教育」が必修化され、高等学校においては平成 25 年度から、より専門的な「くすり教育」が開始されていることから、授業用の資材を提供している。

①資材購入

学校環境衛生検査の資料として、「学校における水泳プールの保健衛生管理 平成 28 年度改訂」(公益財団法人日本学校保健会)の書籍を購入し、保健衛生の向上を図った。

(4) 学校保健向上事業



①学校薬剤師研修会の開催

ア 平成 29 年度学校薬剤師研修会

日時：平成 29 年 4 月 9 日(日) 14:00～16:30

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：

(ア)「平成 28 年度神奈川県立学校における環境衛生検査の実施状況報告および平成 29 年度学校環境衛生検査について」

講師 公衆衛生・学薬委員会 委員長 神原 大輔 氏

(イ)「学校環境衛生基準の意義と基準に基づいた管理」

講師 法政大学 スポーツ健康学部 教授 鬼頭 英明 氏

受講者数：95 名(県薬会員 91 名：一般 4 名)

② 5 年経験者研修講座への講師派遣

県教育委員会の依頼により、薬物の恐ろしさや正しい知識を伝える教職員の指導力を高めるため、教職員 5 年経験者に対し薬物乱用防止啓発に関する講義を行った。

日程：5 月 11 日、18 日、22 日、23 日、24 日

会場：神奈川県立総合教育センター善行庁舎 大講堂

内容：「児童・生徒指導における薬物乱用防止の視点」

講師 公衆衛生・学薬委員会 委員延べ 5 名

総出席者数：911 名

③ 「学校医・学校歯科医・学校薬剤師執務必携ハンドブック改訂版」の再改訂

本書については、平成16年度改訂から13年が経過したことから、神奈川県学校保健連合会が中心となり、県三師会の協同事業として平成28、29年の2年間で改訂を行った。

④ 幼稚園や私立学校における学校薬剤師調査の実施

学校薬剤師は学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事することと定められている。公立学校は各地域からの推薦等により把握されているが、幼稚園や私立学校は把握されていないため、今後の情報提供等を目的として実態把握のためアンケート調査を実施した。

		学校数 (a)	回答 (b)	回収率 (b/a)
区 分	幼稚園	667	87	13%
	小学校	32	7	22%
	中学校	63	15	24%
	高等学校	78	20	26%
	その他	178	6	3%
	合計	1, 018	135	13%

⑤ 全国学校保健調査への協力

日本薬剤師会が昭和 46 年度から実施している全国学校保健調査について、地域薬剤師会の協力のもと、神奈川県内調査の取り纏めを行った。なお、本調査結果は学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として毎年文部科学省へ報告を行っている。

テーマ：平成 29 年度の採光及び照明、検査器具について

対象：学校薬剤師

調査票配布数：1, 560 枚

調査票回収数：1, 318 枚

3. 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

県民に対し医薬品の適正使用など健康な社会づくりの普及啓発を図るため、関係団体との共催により、パネル展示や血管年齢測定などの健康度チェック等を実施した。

また、くすりと健康すこやかフェアやイベント等で利活用するため、食物アレルギーリーフレットの内容をパネルとして作成し、展示した。

ア くすりと健康すこやかフェア

日時 平成29年10月19日(木)10:00~16:00

会場 新都市プラザ(横浜駅東口そごう前広場)

主催団体 神奈川県薬剤師会

神奈川県病院薬剤師会

神奈川県製薬協会

神奈川県医薬品配置協会

横浜市薬剤師会

参加人数 約1,500名

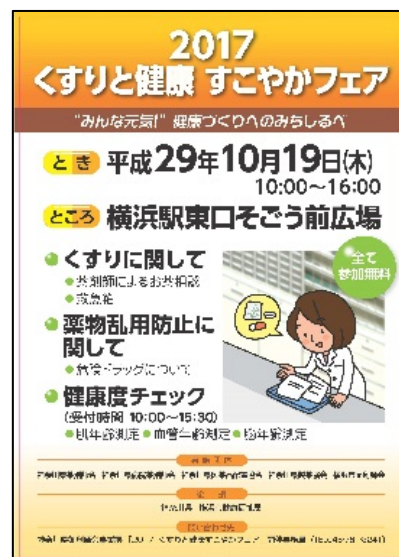
実施 血管年齢測定(県薬剤師会) 2台 329件

脳年齢測定(県薬剤師会) 2台 156件

肌年齢測定(県薬剤師会) 1台 92件

お薬相談(県病薬) 50件

アンケート回収 609件



(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」(10/17~10/23)において、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構等が作成のポスター、チラシ、ハンドブックなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付し、かかりつけ薬剤師の普及、医薬品の適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発を行った。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

① 医薬品適正使用検討事業

県三師会、県病院協会及び県病院薬剤師会と年1回開催しており、協議事項について検討したが喫緊の課題がなかったため開催は見合わせた。



② 調剤報酬に係る適正な保険請求に関する自主点検調査

調剤報酬に係る不正な保険請求事象の発生を踏まえ、日本薬剤師会より本会会員薬局に対し自主点検調査の要請を受けた。これを受け、保険薬局を対象に各薬局において適正に保険請求が行われていることの自主点検調査を2回(8月、12月)実施した。

ア 1回目：8月実施

調査対象薬局数 2,466 施設

回答薬局数 2,144 施設

- 【内訳】 1. 不適正な事案（付け替え）は認められなかった 2,144 施設
2. 不適正な事案（付け替え）が認められた 0 施設

イ 2回目：12月実施

調査対象薬局数 2,750 施設

回答薬局数 2,750 施設

【内訳】

確認事項① 複数店舗の該当

1. グループ（複数店舗）ではない 1,004 施設
2. グループに属している 1,746 施設

確認事項② 付け替えの有無

1. 付け替え請求はない 1,702 施設
2. 本部で一括対応のため、個別回答は不可 44 施設
3. 付け替え請求があった 0 施設

確認事項③ 行政機関への報告・相談（付け替え請求があった場合）

1. 報告・相談している 0 施設
2. 近日中に報告・相談の予定 0 施設
3. 予定なし 0 施設

(4) セルフメディケーションの推進

①資材の作成・推進のための広報

県民自ら、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で管理を行うセルフメディケーションの推進及びかかりつけ薬局・薬剤師を普及させるため、リーフレット 150,000 枚の作成、配布及びタウンニュースの掲載などを実施した。



<セルフメディケーション啓発リーフレット A4 三つ折>



<タウンニュース 3/22～24 掲載 神奈川全域 12.3cm×3 段>

②健康測定機器による健康相談の推進

健康測定機器については、昨年度に続き本年度も4台をリースし、地域薬剤師会及び会員薬局に概ね7日間を目途として貸出しを実施した。延べ件数は128件であった。

貸出機器及び貸出件数 脳年齢・血管年齢・健美瘦チェック器 <33 件>

血管年齢計 <33 件>

骨健康測定器 <38 件>

肺年齢計 <17 件>

血圧計1台 <7 件>

環境放射線モニター2台 <0 件>

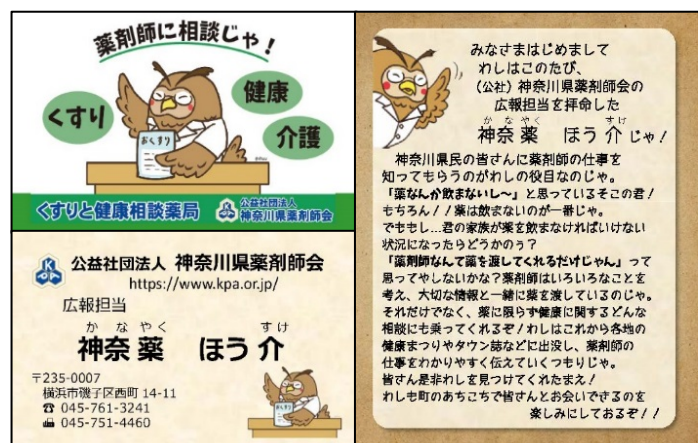
計7台 <128 件>

③啓発グッズ作成

県民啓発用グッズとして絆創膏6,000個、名刺大カード20,000枚を作成し、かながわ薬剤師学会大会他、地域のイベント等で配布し啓発を行った。



<絆創膏>



<名刺大カード>

④薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

薬局・薬剤師が地域に密着した健康情報の拠点であることを、県民に対して啓発し続けることを目的として研修会を開催した。

ア 第1回セルフメディケーション研修会 ～総論編～

日時：平成29年4月16日（日） 14：00～17：30

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：まずは食事から！子どもの食と栄養 ～乳幼児編～

講師 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科

助教 樋口 良子 氏

講師 駿藤 晶子 氏

受講者数：70名（会員60名：一般10名）

イ 第2回セルフメディケーション研修会 ～各論編～

日時：平成30年2月4日（日） 13：00～17：30

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：「明日からできる薬局製剤・OTC研修会」

（ア）薬局製剤の法的規制 許可申請書類から関連法規

講師 ㈱大島薬局 大島 崇弘 氏

（イ）薬局製剤の実際とOTC販売の具体例を学ぼう

（スモールグループ・ディスカッション含む）

講師 ㈱田中薬局 田中 大嗣 氏

受講者数：44名（会員38名：一般6名）

 ⑤セルフメディケーション啓発研修会の開催（地域との共催）

薬局・薬剤師が地域に密着した健康情報の拠点であることを、県民に対して啓発し続けることを目的として地域薬剤師会との共催研修会を開催した。

ア セルフメディケーション研修会 ～各論編～（共催 小田原薬剤師会）

日時：平成29年7月23日（日）13：00～18：00

会場：小田原市保健センター

講演：プライマリーケア・セルフメディケーションの実践について

（症例検討）スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 横浜薬科大学 非常勤講師 堀川 壽代 氏

受講者数：33名（会員30名：一般3名）

イ セルフメディケーション研修会 ～各論編～（共催 相模原市薬剤師会）

日時：平成29年9月3日（日）13：00～18：00

会場：相模原市総合保健医療センター

講演：プライマリーケア・セルフメディケーションの実践について

（症例検討）スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 横浜薬科大学 非常勤講師 堀川 壽代 氏

受講者数：23名（会員22名：一般1名）

(5) くすりと健康相談薬局の推進

くすりと健康相談薬局を9月1日付けで新たに10薬局認定し、県内201薬局となった。

申請期間：平成29年5月10日～6月30日

申請薬局数：11 薬局

認定薬局：10 薬局

認定期間：平成29年9月1日～平成32年8月31日

①認定証交付式及び特別シンポジウムの開催

日程：9月3日（日）

交付式：10時～10時30分

特別シンポジウム：10時30分～12時

テーマ：「あなたも一緒に突撃取材！」

～くすりと健康相談薬局には、これからのヒントが詰まっている～

座長：(有)ヒロ薬局 塚本 久美 氏

シンポジスト：(株)田中薬局 田中 大嗣 氏 (株)大島薬局 大島 崇弘 氏

(株)夏目薬局 夏目 善文 氏

参加者：54名

②チラシ・ステッカー・グッズ作成

ウェットティッシュ 30,000 個、啓発用ちらし 2 種作成（ア：薬局利用者等への配布用（A4）20,000 枚、イ：県民等への配布用（A3）20,000 枚）、啓発用たすき 30 本、のぼり旗 10 本、卓上のぼり 20 本、ぬいぐるみ大 20 個、小 300 個及び啓発用名刺大カード（23 頁参照）400 枚を作成し、かながわ薬剤師学会大会にブースを設け各種啓発グッズを用いて啓発を行い、また本会受付に配置し啓発を行った。



<A4 表/A3 二折表>



<A4 裏/A3 二折裏>

<A3 二折見開：認定薬局一覧（省略）>



<のぼり旗・卓上のぼり>

<ぬいぐるみ大及び小>

<たすき>

③その他のPR活動

ア 3/22～24 のタウンニュースに掲載 神奈川全域 12.3cm×3 段（再掲）



イ 会報誌「薬壺」にて認定薬局インタビュー記事を連載した。

5・6月号 大岡薬局（相模原市）

7・8月号 大島薬局（藤沢市）

9・10月号 快気堂薬局上粕屋店（伊勢原市）

11・12月号 夏目薬局（小田原市）

1・2月号 不動薬局長坂店（横須賀市）

3・4月号 梶山みつつけ薬局

（横浜市鶴見区）

（6）薬事情報センターの充実

医薬品・健康保険制度等に関する相談・情報提供として、厚生労働省、日本薬剤師会や製薬メーカー等から新発医薬品や副作用等の情報収集に努め、会員や医師・県民などからの医薬品、化学物質、医療保障制度等の相談に応じ、医薬品の適正使用の推進、薬害の防止などに貢献した。

平成 29 年度相談件数 2,046 件 （平成 28 年度相談件数 2,137 件）

4. 医療安全に関する事業

(1) 神奈川医療安全推進セミナーへの参画

平成29年度も、昨年度と同様に神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県病院協会・神奈川県看護協会・神奈川県薬剤師会・神奈川県歯科医師会の計6団体が主催となって「医療事故発生後のリスクマネジメント～医療事故当事者のケアを組織的に考える～」をテーマに掲げて神奈川県看護協会が当番幹事団体として同セミナーを開催した。

日時：平成30年1月20日（土） 13:30～17:00

会場：神奈川県総合医療会館 7階講堂

テーマ：医療事故発生後のリスクマネジメント

医療事故当事者のケアを組織的に考える

講演Ⅰ：医療事故当事者に対するメンタルケア・ピアサポート

講師 早稲田大学大学院法務研究科教授 和田 仁孝 氏

講演Ⅱ：医療メディエーター・看護師の立場から医療事故当事者のケアを考える

講師 北里大学病院 患者サービスセンター

医療メディエーター・看護師長 川谷 弘子 氏

(2) 子どもの医薬品誤飲防止啓発リーフレットの作成及び周知

平成29年3月に厚生労働省が公表した「平成27年度家庭用品等に係る健康被害病院モニター報告」において、誤飲の対象が「タバコ」に続いて「医薬品・医薬部外品」が報告件数2位となっており、その対策が急がれている状況を踏まえ、今回リスクマネジメント委員会では子どもの保護者を対象に啓発用ツールとしてリーフレット150,000枚を作成して会員に配布して県民に対する周知を図った。

リーフレットは保護者向けとして、表面には家庭での保管のポイントや子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関の紹介、裏面には誤飲事故事例を紹介している。また、QRコードを読み取るとYoutubeにアップされている啓発用動画にアクセスでき、約7分の動画で保護者の意識付けに繋がる構成とした。



(表)



(裏)

(3) 高度管理医療機器継続研修会の開催

医療機器の品質管理などのため、医療機器販売業務の営業管理等に係る研修の受講が毎年必須のため、本年度後期に日本薬剤師会との共催による研修会を4回にわたり開催した。

日時：第1回 11/30(14時～16時) 第2回 11/30(18時～20時)

第3回 3/11(10時～12時) 第4回 3/11(14時～16時)

会場：神奈川県総合薬事保健センター

参加人数：第1回 11/30 207名(会員175名・一般32名)

第2回 11/30 159名(会員131名・一般28名)

第3回 3/11 192名(会員171名・一般21名)

第4回 3/11 154名(会員122名・一般32名)

講師：原田 哲夫 氏(神奈川県薬剤師会元理事)

(4) 薬害関連資料収集

薬害の縮減など安全な社会づくりのため、またこれまでの薬害事例に学ぶことは重要であるとして過去の薬害を振り返るため、薬壺に次のとおり連載した。

①薬壺9・10月号 薬害の歴史について(第3回)陣痛促進剤被害

②薬壺1・2月号 「薬害」をテーマとした中高生ワークショップ形式公開講座

また、薬害を広く会員に認知していただき、日常業務に役立ててほしいため、薬害年表パネルを作成した。

(5) 多重受診防止対策及び偽造処方せん対策の推進

①多重受診に関する情報の周知

多重受診において、保険者から給付を制限された患者等の情報についてリスクマネジャーを通じて会員に周知した。また、処方せんを偽造して行使した患者情報も多重受診同様に周知した。

ア 多重受診 11件

イ 処方せん偽造 1件

また、県保健福祉局と県薬剤師会との定例連絡会(2/9)において、多重受診の現状について意見交換し、対策について要望を行った。



②多重受診防止啓発ポスターの作成

多重受診による医薬品の不正入手を防止することを目的に、薬局での注意喚起を図るためのポスター3,000枚を作製した。



5. 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

日本赤十字社の献血事業に協力し、かながわ薬剤師学術大会にて献血ブースを設け、献血協力への呼びかけを行った。

協力者数：133 名（受付 170 名）

(2) 薬物乱用防止の啓発

①街頭キャンペーン 2回

ア 平成 29 年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

日時：平成 29 年 7 月 19 日（水）15：30～16：15

会場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）

主催：神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県薬剤師会

イ 平成 29 年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

日時：平成 30 年 1 月 8 日（月・祝）11：30～12：30

会場：新横浜駅北口 東広場

主催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

②危険ドラッグ啓発グッズ作成

危険ドラッグ啓発資材カイロを 7,000 個作成し、街頭キャンペーンやかながわ薬剤師学術大会等で配布するため、啓発グッズを作成し配布を行った。



③危険ドラッグ対策事業補助（再掲）

地域薬剤師会が独自に実施する事業に対する補助事業としていたが、本年度の申請実績はなかった。



④アンチドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者等への最新情報の提供及び地域薬剤師会へ情報提供の一環として日本薬剤師会発行「薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック 2017 年版」購入の取り纏めを行い、スポーツファーマシストの知識向上を計った。

(3) 公衆衛生に関する県民向け研修会の開催

更なる衛生意識の向上のため、身近な公衆衛生に関するテーマで、薬剤師・医師・歯科医師・学校関係者のみならず、県民の方にも広くご参加いただける公開研修会を開催した。

①第1回公衆衛生研修会

日時：平成29年10月22日（日）14：00～16：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：～抗菌薬の適正使用～ 言うは易し、そこに立ちはだかる壁

講師 昭和大学リウマチ膠原病内科 高橋 良 氏

受講者数：55名（会員39名：一般16名）

②第2回公衆衛生研修会

日時：平成30年3月18日（日）14：00～16：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：アンチ・ドーピングについて

講師 稲元薬局 今井 裕久 氏

受講者数：58名（会員41名：一般17名）

(4) かながわ健康財団等事業への参画

薬業団体のみならず他業種の団体等と共に事業に協力することで、県民に対して様々な啓発活動を行った。

①薬物クリーンかながわ推進会議

ア 平成29年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン（再掲）

日時：平成29年7月19日（水）15：30～16：15

会場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）

主催：神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県薬剤師会

イ 平成29年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン（再掲）

日時：平成30年1月8日（月・祝）11：30～12：30

会場：新横浜駅北口 東広場

主催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

②かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーンへの参加（7月／11月）

ア 川崎会場①

日時：平成29年7月5日（水） 15：00～16：00

会場：川崎フロンパーク（等々力陸上競技場前 等々力プール前広場）

出席者：金子理事

イ 横浜会場①

日時：平成29年7月29日（土） 16：00～17：00

会場：日産スタジアムゲート前広場（試合前イベント会場）

出席者：金丸常務理事

ウ 川崎会場②

日時：平成 29 年 11 月 8 日（水） 16：30～17：30

会場：JR 川崎駅東口駅前広場

出席者：金子理事

エ 横浜会場②

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土） 12：00～13：00

会場：日産スタジアム東ゲート前広場

出席者：金丸常務理事

③かながわ健康財団

健康チャレンジフェアかながわ 2017～延ばせ健康寿命！私の財産（たから）、社会の活力（ちから）！！～への協力

日時：平成 29 年 11 月 25 日（土） 12：00～16：30

会場：クイーンズサークル

出席者：事務局長

6. 地域医療に関する事業

（1）保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

介護・在宅分野において患者が、安心して高度な薬物治療を継続できるようにするため、薬剤師に最新の情報や技術などを修得する環境を提供する事業及び『薬・薬連携』を通じて、一般名処方における諸問題、後発医薬品に係る諸問題等を検討し本会と県病院薬剤師両会会員の相互関係の理解につなげ、在宅医療の普及促進を行った。

①在宅医療推進研修会の開催

ア 平成 29 年度在宅医療研修会（共催 横須賀市薬剤師会）

日時：平成 29 年 6 月 4 日（日）14：00～17：30

会場：横須賀市薬事衛生センター

講演：「これから始める在宅訪問薬剤師業務」

「実際の在宅業務を、動画を視聴しながら学ぼう」

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 ㈱スズケン 松本 卓也 氏

受講者数 46 名（会員 39 名：一般 7 名）

イ 平成 29 年度在宅医療研修会（共催 川崎市薬剤師会）

日時：平成 29 年 7 月 6 日（木）19：30～21：00

会場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）

講演：「いまさら聞けない在宅医療のいろはのイ」

講師 くすりサガミ薬局 福嶋 仁 氏

受講者数：154 名（会員 108 名：一般 46 名）

ウ 平成 29 年度在宅医療研修会 （共催 小田原薬剤師会）

日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）13：00～16：00

会場：小田原市保健センター

講演：「今さら聞けない在宅医療のいろはのイ

～在宅医療・介護保険のポイントについて～」

講師 サガミ薬局 小林 弘忠 氏

受講者数：42 名（会員 40 名：一般 2 名）

エ 平成 29 年度在宅医療研修会

日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）13：00～16：30

会場：神奈川県総合薬事保健センター 多目的ホール

講演：「在宅医療における口腔ケア、摂食・嚥下に対する取り組みについて」

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 太洋歯科クリニック 院長 蕭 敬意（しょう けいい）氏

受講者数：63 名（会員 53 名：一般 10 名）

オ 平成 29 年度在宅医療研修会 （共催 相模原市薬剤師会）

日時：平成 30 年 2 月 15 日（木）19：30～21：30

会場：相模女子大学グリーンホール 多目的ホール

講演：「在宅患者に対する訪問歯科の取組みと多職種ケアの必要性

～薬剤師に出来る口腔ケア～」講演後にシンポジウムを開催

講師 歯科川崎医院 歯科医師 川崎 正仁 氏

受講者数：67 名（会員 56 名：一般 11 名）

カ 平成 29 年度在宅医療研修会 （共催 横浜市薬剤師会）

日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）13：00～15：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター 多目的ホール

講演：「みんなで作ってみよう、薬学的管理計画書

～「実施すべき指導内容」の作成を中心に～」

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 上永谷薬局磯子店 川村 幸久 氏

受講者数：58 名（会員 52 名：一般 6 名）

②在宅医療支援薬局リスト等の作成

平成 29 年 7 月 1 日から平成 29 年 8 月 31 日までの申込み受付期間で 671 薬局が在宅医療支援薬局として登録された。登録薬局リストを収載した冊子を 2,500 部作成、ステッカーを 700 枚増刷した。なお、ステッカーは新規登録の在宅医療支援薬局へ配布し、冊子については、在宅療養支援診療所及び訪問看護ステーション、神奈川県内社会福祉協議会等の関係施設へ配布した。また、神奈川県薬剤師会ホームページから、居宅療養管理指導の基礎知識等、県民へ在宅医療支援薬局の最新情報の提供を行った。



＜ステッカー＞

③認知症対応力向上研修会の開催

日時：平成29年11月12日（日） 13：00～17：30

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：

ア 「認知症施策の現状/逗子市の認知症の取り組み」

講師 神奈川県保健福祉局福祉部高齢福祉課 技幹（保健師）田中 智子 氏
逗子市福祉部高齢介護課高齢福祉係

基幹型地域包括支援センター（保健師） 池田 恵 氏

イ 「現在神奈川県内の高齢者運転免許の更新と自己返還、事故について」

講師 神奈川県警察磯子警察署交通課 課長 池田 誠司 氏

ウ 「認知症の診断・対応での留意点」

講師 北里大学北里研究所病院 精神科部長 高橋 恵 氏

エ 「認知症の本人と家族を支える」

講師 認知症の人と家族の会 神奈川支部 田村 加代子 氏

受講者数：75名（会員62名：一般13名）

④福祉関係者等との連携強化

ア 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会の推薦により派遣された医療・介護保険委員会委員が、専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に協力した。

〈派遣先機関及び回数〉

（ア）公益財団法人 健康推進財団

5回（7月10日、7月19日、12月13日、1月8日、1月17日）

（イ）合同会社 介護の未来 1回（8月22日）

（ウ）神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、川崎市社会福祉協議会
（合同開催） 1回（9月26日）

（エ）学校法人 西田学園 1回（11月30日）

イ 神奈川県薬務課が実施する「お薬出前講座」への協力

神奈川県が実施している出前講座のうち、薬務課から依頼された医薬品適正使用に関する出前講座に医療・介護保険委員会の委員を中心に地域の会員がこれに協力して対応した。

開催日	団体名	地区	対象者
5月29日	久保千歳会	相模原市中央区	30名
6月30日	横山六六会	相模原市中央区	30名
7月18日	老人クラブ子母口富士見寿会	川崎市高津区	20名
7月31日	小鹿会	川崎市中原区	30名

8月16日	相模原市中央地区老人クラブ 矢部第一寿会	相模原市中央区	30名
8月23日	横浜市馬場地域ケアプラザ	横浜市鶴見区	30名
9月15日	ほほえみ会	相模原市中央区	15名
9月25日	南生田MYクラブ	川崎市多摩区	20名
11月13日	幸区老連河原町幸親会	川崎市幸区	60名
11月16日	老人クラブ河原町ふれあい会	川崎市幸区	25名
12月6日	向陽礎会	相模原市中央区	20名
2月15日	稲田地区老人クラブ連合会	川崎市多摩区	100名
2月21日	光が丘ひまわり会	相模原市中央区	30名

⑤ ⑤患者のための薬局ビジョン事業

神奈川県からの委託を受け、県民に対する患者本位の医薬分業の実現に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局の普及を行うべく子育て世代、中高年世代、高齢世代の各世代を対象とした薬・健康相談を実施し、アンケート調査を行った。この事業を通し、県民にかかりつけ薬剤師・薬局の有用性等について周知を図るとともにかかりつけ薬剤師・薬局の利用促進を図った。

ア 薬局・薬剤師による健康相談等検討会の開催（2回開催）

（ア）第1回（9/15） 参加者：12名

（イ）第2回（3/2） 参加者：6名

イ 相談事業の実施

（ア）子育て世代対象

協力団体：伊勢原市薬剤師会・横須賀市薬剤師会・鶴見薬剤師会・
金沢区薬剤師会・相模原市薬剤師会

相談者数：102名

（イ）中高年世代対象

協力団体：川崎市薬剤師会

相談者数：52名

（ウ）高齢世代対象

協力団体：小田原薬剤師会・大和綾瀬薬剤師会

相談者数：45名

この事業を通し、薬剤師の職能が県民に十分に浸透していないことがわかった。今後、かかりつけ薬剤師・薬局の更なる普及促進に向け、薬剤師としての職能のアピールを意識した日頃の運営が望まれる。

⑥ ⑥他職種連携

ア 神奈川県栄養士会との栄養業務に関する覚書の調印（9/28）

神奈川県民の健康と公衆衛生の向上のために、両団体がそれぞれの機能や組織を活用することを目的として、下記業務の相互連携についての覚書に調印した。

(ア) セミナーにおける講師派遣

(イ) 地域で開催するイベント及び薬局で実施する健康相談会における栄養指導等

イ 神奈川県医薬品登録販売者協会との「医薬品登録販売者継続研修会」事業に関する協定の締結 (1/18)

神奈川県薬剤師会会員の属する薬局等の医薬品登録販売者に対し、資格継続に必要な研修を受講できる環境を整備し、薬局開設者が一般用医薬品の販売等の業務に係る適正な管理を確保することを目的に協定の締結を行った。

ウ 神奈川県助産師会との処方箋医薬品の譲渡及び譲受けに係る改訂協定書の締結 (1/22)

神奈川県民の出産時において緊急事態等臨時応急の手当て等で処方箋医薬品が必要となった場合に、神奈川県薬剤師会が指定した県下7ブロックの指定薬局から速やかに供給することを目的に協定の改訂を行った。

⑦「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた担当者合同全国会議

日本薬剤師会主催で11月6日に患者のための薬局ビジョン実現に向けた担当者合同全国会議が開催され、本会から3名参加し、各都道府県薬剤師会の取組について、スモールグループ・ディスカッション (SGD) 形式による討議を行った。本会の取り組み事業として、「くすりと健康相談薬局」及び「倫理研修会」等を説明し、また、他職種との取り組みとして、「県栄養士会との協定の締結」及び「協会けんぽとの提携」を報告し、他都道府県薬と情報交換を行い、ビジョン実現に向けて議論した内容を今後に活かすこととした。

(2) 薬・薬連携の強化と相互の資質向上

①県病薬との合同研修会の開催

ア 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

(第16回かながわ薬剤師学術大会)

日時：平成30年1月14日(日) 12:25～13:25

会場：パシフィコ横浜 会議センター3階

テーマ：吸入器指導におけるトレーシングレポートを活用した患者情報共有

座長：神奈川県病院薬剤師会 業務検討委員会 委員長 菅野 浩 氏

シンポジスト：黒須 智博 氏 (横浜労災病院 薬剤部)

相沢 淳 氏 (日吉堂薬局)

参加者数：66名

イ 褥瘡治療薬サミット in かながわ 2018

日時：平成30年2月25日(日) 9:00～16:30

会場：横浜市立大学福浦キャンパス看護教育研究棟

講演：

(ア)「薬剤師の褥瘡チーム実践力を身につける徹底研修」

講師 愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 古田 勝経 氏

(イ)「在宅褥瘡治療における薬局薬剤師の介入と多職種連携について」

講師 (株)サン薬局 在宅療養支援部 森 麻美子 氏

(ウ)「在宅における褥瘡ケアの現状」

講師 おひさま訪問看護ステーション 所長 中村 あや子 氏

受講者数：87名（会員64名：一般23名）

(3) 後発医薬品の使用促進

① 県民向け使用促進

厚生労働省及び神奈川県が作成した後発医薬品使用促進に係る県民向けリーフレットを提供した。

(4) 医薬分業の質的向上

① かかりつけ薬局・薬剤師リーフレットの増刷（再掲）

県民自ら、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で管理を行うセルフメディケーションを推進及びかかりつけ薬局・薬剤師の啓発活動を協働で行った。啓発活動の一環として、従来のリーフレットの増刷ではなく、新しく150,000枚の作成、配布及びタウンニュースの掲載などを実施した。



＜セルフメディケーション啓発リーフレット A4三つ折＞



＜タウンニュース 3/22～24 掲載＞

神奈川全域 12.3cm×3 段＞

②保険研修会の開催

ア 保険薬剤師のための保険研修会（基礎編）

日時：平成 29 年 5 月 25 日（木） 14：00～17：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階会議室

講演：

（ア）保険調剤の理解のために 調剤報酬点数表及び留意事項

講師 関東信越厚生局神奈川事務所 保険指導薬剤師 依田 啓司 氏

（イ）保険調剤について

講師 神奈川県薬剤師会 医療・介護保険委員会 委員 伊藤 啓 氏

受講者数：41 名（会員 15 名：一般 26 名）



イ 保険薬剤師のための保険研修会（基礎編）（共催 小田原薬剤師会）

日時：平成 29 年 11 月 25 日（土） 18：00～21：00

会場：小田原市保健センター

講演：「保険調剤の理解のために 調剤報酬点数表及び留意事項」

講師 ㈱夏目薬局 夏目 善文 氏

受講者数：61 名（会員 33 名：一般 28 名）

ウ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）

日時：平成 29 年 6 月 25 日（日） 13：30～16：30

会場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階会議室

講演：薬剤服用歴管理指導簿の効率的な記載方法について

服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 佐野十全堂薬局 大島 正 氏

受講者数：20 名（会員 14 名：一般 6 名）

エ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）

日時：平成 29 年 9 月 7 日（木） 13：30～16：30

会場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階会議室

講演：薬剤服用歴管理指導簿の効率的な記載方法について

服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 むつみ薬局弘明寺店 西山 宰生 氏

受講者数：28 名（会員 15 名：一般 13 名）

オ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土） 15：00～18：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階会議室

講演：「薬剤服用歴管理指導簿の効率的な記載方法について
服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成
スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式
講師 田辺薬局 河野 一規 氏
受講者数：28 名（会員 16 名：一般 12 名）

③疑義照会実数及び重複投薬・相互作用等防止加算の算定件数及び薬剤師の薬学的介入の実態についての調査を行った。

調査期間：平成 29 年 7 月 1 日～31 日の 1 月間を対象
研究委託先：学校法人新潟科学技術学園 新潟薬科大学

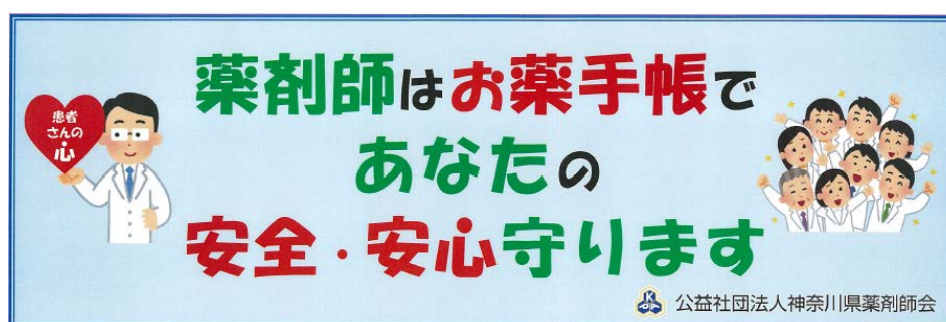
〈調査結果〉

	処方せん受付枚数	疑義照会枚数	重複投薬・相互作用等防止加算
総 計	114,254	3,549	1,476
平 均	1,813	56.33	23.43
率(%)		3.11%(±0.61ポイント)	1.29%(±0.31ポイント)

重複投薬・相互作用等防止加算（マル防）算定率は、1.29%であった。昨年度の値 1.01%よりも上昇しているが、誤差の範囲内と考えられる。したがって、この 2 年の調査から処方せん内容の変更を必要とする疑義照会が概ね 1 %の比率で発生し、薬剤師は、1 %の確率で発生する可能性のあるインシデントを防ぐために処方チェックをする「安全管理」の一翼を担っていることが明らかとなった。

④おくすり手帳啓発グッズ作成

お薬手帳の啓発グッズとして、パネル（29×10cm）を 2,700 枚作成し、会員薬局宛て送付した。



⑤平成 30 年度診療報酬改定に係るパブリックコメント（1/19 提出）

医療・介護保険委員会として、厚生労働省宛て次の項目についての意見を提出した。

ア 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

- ・かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の機能評価（3 件）
- ・質の高い在宅医療・訪問看護の確保（2 件）

イ 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実
薬剤師・薬局による対人業務の評価（1 件）

- ウ 効率化・適正化を通じた制度の安全性・持続可能性の強化
 - ・後発医薬品の使用促進（5件）
 - ・医薬品の適正使用の推進（1件）
 - ・備蓄の効率性や損益状況等に応じた薬局の評価の推進（2件）
- エ その他
 - ・パブリックコメントの募集期間について（1件）

（5）外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援（HP 等対応）

本会のホームページに「外国籍県民のための服薬情報提供文書」、「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」を掲示することで外国籍県民が医薬品を適正使用するためのツールを公開している。

（6）地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が行う公益目的事業に対し経費の一部を補助し、公益目的事業補助金を交付した。また、先導的事业に対して、先導的事业委託金を交付した。

①公益目的事業補助金	19 地域・職域薬剤師会	交付額	22,967,000 円
②先導的事业委託金	6 地域薬剤師会	〃	2,918,000 円

新（7）健康サポート薬局関連事業の推進（研修会開催等）

平成 28 年 2 月、厚生労働省より、「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」及び健康サポート薬局の基準告示が公布された。日本薬剤師会と連携のもと、健康情報のための特命ワーキンググループを中心として研修事業を実施した。

①健康サポート薬局にかかる技能習得型研修会の開催

平成29年 6月11日（日）	横浜市薬剤師会	（研修会 A・受講者 41名）
平成29年 7月 9日（日）	横須賀市薬剤師会	（研修会 A・受講者 22名）
平成29年 8月 6日（日）	川崎市薬剤師会	（研修会 A/B・受講者 各71名）
平成29年 8月26日（土）	湘南東地域薬剤師会協議会	（研修会 A・受講者 36名）
平成29年 8月27日（日）	神奈川県薬剤師会	（研修会 B・受講者 100名）
平成29年 9月10日（日）	相模原市薬剤師会	（研修会 A・受講者 16名）
平成29年10月29日（日）	横須賀市薬剤師会	（研修会 B・受講者 10名）
平成30年 2月 4日（日）	湘南東地域薬剤師会協議会	（研修会 A・受講者 34名）
平成30年 3月17日（土）	神奈川県薬剤師会	（研修会 B・受講者 60名）

受講者総数 461名（研修会 A 220名 / 研修会 B 241名）

※県内健康サポート薬局登録数：51薬局（3/31現在）

7. 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

各地域薬剤師会の災害時優先携帯電話の所有者と電話番号の確認を行った。

(2) 災害用備蓄品の整備

大規模災害による被災時に、役職員また近隣の帰宅困難者（約 50 名）が一時避難用に 3 日間滞在できるよう、備蓄している非常用食品等の確認を行った。また、折りたたみ式ベット 23 台、寝袋 20 枚、衛生用品等を購入し、備蓄品の整備を行った。

(3) マニュアルの改訂

①災害対策検討委員会

大規模災害の発生が懸念されるなか、災害時に薬剤師が被災者の健康を守ること及び被災地の公衆衛生活動に効率的に貢献できるよう必要な体制や環境を整備することを目的として開催した。事務手順や支援体制の想定及び復興体制の確立のため議論整理が必要であり、災害時の適正な調剤を維持するため、情報収集体制、指揮命令系統、整備の検討を適切な医薬品等の供給体制へと活かしていくことに向け検討を行った。

ア 災害対策検討委員会打合会

開催日：平成 29 年 9 月 4 日

イ 災害対策検討委員会

開催日：平成 29 年 12 月 1 日 平成 30 年 3 月 15 日

Ⅱ 法人組織運営に関すること

1. 総会、理事会等開催など

(1) 会議等の開催

①総会、理事会、常務理事会、正副会長会など諸会議の円滑な運営などを行った。

②総務委員会 (5月9日、9月13日、11月1日、1月17日)

5月9日の委員会で平成28年度事業報告及び収支決算等についての検討を行った。また9月13日の委員会では、平成30年度予算・事業計画の検討を開始するにあたり、積算基準等について検討を行い、平成30年度事業の在り方について常務理事会へ意見書を提出した。

11月1日の委員会では、平成29年度中間報告を行ったほか、平成30年度事業計画並びに予算、奨励賞表彰規程及び個人情報等取扱規則等について検討を行った。また、1月17日の委員会では、平成30年度事業計画並びに予算の原案を取りまとめ、名誉会員への推薦等について検討した。

③総会議事運営委員会 (4月27日、1月25日)

通常総会・臨時総会の運営について、「議事運営委員会運営要綱」に基づき、代議員会の運営方法について協議した。

④代議員選挙管理委員会 (11月14日、12月21日)

ア 補欠の代議員選挙 (病診勤務1名)

代議員選挙立候補書類審査 (12月21日)

代議員選挙告示 平成29年11月24日

選挙期日 平成30年1月15日

当選者告示 平成30年1月17日

⑤神奈川県三師会役員連絡協議会 (9月20日)

本年度は、本会が当番となり次の通り開催した。出席者は、医師会23名、歯科医師会19名、本会29名、合計71名であった。

ア 情報提供

歯科医師会) 健康寿命延伸の鍵～オーラルフレイル予防と改善～

イ 協議

【共通テーマ】これからの地域連携及び在宅医療について

医師会) 地域包括ケアシステム推進にむけた医歯薬連携の取り組み

神奈川県医師会理事 久保田 毅 氏

歯科医師会) これからの地域連携、在宅医療の推進について (歯科の立場から)

神奈川県歯科医師会常務理事 西郷 巖 氏

薬 剤 師 会) 地域包括ケアシステムにおける薬剤師、薬局の取組み

神奈川県薬剤師会理事 佐藤 克哉

⑥京畿道薬師会等との交流

ア 京畿道薬師会表敬訪問及びFIP 参加 (9月9日～11日)

京畿道薬師会と本会は、2008年6月に友好協定を締結、2014年5月には学術的な協力に関する覚書を締結しているところ、今年度、ソウルで開催される第77回FIP 世界薬学・医薬品会議への参加に併せて京畿道薬師会に表敬訪問を行い、下記交流会へ参加した。

(ア) 第77回FIP 世界薬学・医薬品会議

開催日：平成29年9月10日

会場：グランドインターコンチネンタルソウルパルナス

参加：鶴飼会長、唐澤常務

(イ) 韓日在宅医療交流会

主催：大韓薬師会 保険委員会・(日本：昭和薬科大学)・韓国医薬通信 (共同)

日時：平成29年9月11日 17:00～19:40

会場：大韓薬師会大会議室

参加：【日本】昭和薬科大学 串田一樹教授、

神奈川県薬剤師会 鶴飼会長、唐澤常務 他12名

【韓国】大韓薬師会 ジョチャンフィ(趙瓚彙)会長、

京畿道薬師会 チェグァンフン(崔光勳)会長



(日韓の参加者とFIP会場前にて)

イ 京畿道薬師会の来訪

大韓民国では介護保険が制度化されていない中で、国への要望を行うにあたり、日本における在宅医療や介護保険、地域包括ケアシステム事業などを学ぶとともに意見交換を行うため来日された。本会からは、医療・介護保険委員会の野田委員から「日本における介護保険制度と在宅医療」と題して日本の現状を説明し、今後制定される介護保険及び多科受診患者への医薬品の適正使用等について、活発に意見交換された。

(ア) 京畿道薬師会との情報交換会

日時：平成 30 年 2 月 27 日 15:00～17:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター 3 階会議室

参加：【本会】役員 14 名

【韓国】京畿道薬師会 5 名（崔会長、朴・安副会長、白団長）

カトリック大学校 1 名（羅教授）、医薬通信社 1 名（鄭社長）

(イ) 現場視察等実務研修

日時：A：平成 30 年 2 月 28 日 10:00～15:00 B：10:00

会場：A：矢向地域プラザ及び在宅患家 B：2 薬局

参加：【本会】唐澤常務理事

【韓国】京畿道薬師会 5 名（崔会長、朴・安副会長、白団長）

カトリック大学校 1 名（羅教授）、医薬通信社 1 名（鄭社長）

【その他】昭和薬科大学 串田教授

A：矢向地域プラザ視察及び在宅患家訪問、B：ケアマネジャー活動等について（青木ケアマネジャー講師）説明及び薬局見学、これらを現場にて研修できるよう手配・対応した。



（日韓の参加者と県総合薬事保健センター3 階会議室にて）

⑦神奈川県薬剤師会会長賞及び有功賞の受賞者表彰式・日本薬剤師会有功賞
伝達表彰式・各賞受賞者祝賀会

日時：平成 30 年 1 月 14 日 12：00～13：30

会場：パシフィコ横浜会議センター

参加：27 名



(2) 公益法人制度への対応

①書類の提出

公益社団法人としての定期提出書類「平成 28 年度事業報告等」・「平成 30 年度事業計画等」を神奈川県公益法人認定委員会へ提出した。

また、共益事業から公益事業への変更等については神奈川県文書課に事前相談を行い、以下の事業について平成 28 年度末から公益事業に認定された。

ア 「健康サポート薬局事業」については、「公 1-6 地域医療に関する事業」の中での事業展開と考えられるため、『変更届』を提出のうえ、公益事業として実施されることで確定された。

イ 「多重受診防止策等事業及び偽造処方せんへの取組みについて」は、認定当初には薬局・薬剤師の調剤過誤等防止を目的としていたが、現在は受診した患者による「向精神薬」等の大量不正入手が社会問題となっており、このようなことを防止するために、本会は、医師会・歯科医師会・行政と緊密に連絡を取りながら事業の推進を行い、医療費の削減や、他団体と連携することによって、県民の健康保持にも寄与しているとして『変更認定申請書』を提出し、共益事業から公益事業に認定されたため、「公 1-4 医療安全に関する事業」に移行した。

ウ 「こどもの医薬品誤飲防止啓発リーフレットの作成及び周知について」は、こどもの医薬品の誤飲も 1 位となっている現状からも、「公 1-4 医療安全に関する事業」に移行した。

②登記等

平成 29・30 年度の新規役員の登記を行った。

2. 組織強化と財務の健全化

(1) 公益法人運営特別会費検討委員会の開催

平成 31 年の借入金返済完了を契機とした公益法人運営特別会費の今後のあり方について、新会館建設の是非、会費区分の見直し、事業の経費節減等を含めて総合的に検討した。

①第1回 平成 29 年 6 月 1 日

②第2回 平成 29 年 9 月 7 日

3. 会員管理

(1) 会員管理

- ①入会申請に係る入会審査は 48 回実施し、326 名を承認した（前年度：357 名）
- ②会員規程で定めた手続きにより、会員の登録を行った。
- ③地域及び職域薬剤師会の会員担当、事務局等へ入退会、変更について通知した。
- ④日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し報告した。
- ⑤薬剤師賠償責任保険加入手続きに伴う日薬からの会員登録確認に対応した。
- ⑥4 月 1 日より会員管理新システムを導入し、プログラム等検証を行った。

(2) 県薬会費・公益法人運営特別会費の請求業務

- ①県薬会費・公益法人運営特別会費及び日薬会費の請求書送付
 - ・口座振替 1 回
 - ・コンビニ収納による会費等の請求 2 回（10 月・1 月）
- ②平成 30 年度公益法人運営特別会費及び保険薬局分担金のランク調査を実施した。
（平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月）

(3) 入会の促進

- ①本会主催の研修会の参加者の中で、未入会の薬剤師に入会を案内した。
- ②非会員の旧保険薬局分担金納入協力者に対し、謝礼として薬壺を送付するとともに、入会勧誘を行った。

(4) 会員サービス等業務

- ①薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇登録業、高度管理医療機器販売業等の更新申請書を送付した。（平成29年5月～平成30年4月分、616店舗）
- ②薬局医薬品製造業許可者を対象に副作用抛出金・安全対策等抛出金の申告及び納入業務を行った。210件（平成29年6月～9月）
- ③麻薬取扱者免許の継続申請及び平成28年麻薬年間届を所轄保健所へ提出するよう該当者へ申請書類等を送付した。1820件（平成29年9月）

(5) 日本薬剤師会からの受託事業

- ①日薬会費の徴収を行うため日薬と事業連携協力に関する覚書を締結した。
- ②日薬会費徴収分を日薬へ送金した。(平成 29 年 9 月・平成 30 年 3 月)
- ③日本薬剤師会の会員数を調査し、日本薬剤師会へ報告した。(平成 29 年 11 月)
- ④日本薬剤師国民年金基金の加入者に対して、薬局の従事者である資格証明を行った。
- ⑤日本薬剤師賠償責任保険・日本薬剤師会薬剤師年金の加入促進のために、新規入会者に対しパンフレットを送付し加入の推進を行った。

Ⅲ 共益事業

1. 薬剤師の生涯学習の推進

医療・薬学技術の進歩及び医療ニーズの変化に伴う知識・技能・態度の修得、業務の実践に対応した薬剤師の資質向上を目指すための学習を支援する事業を行った。

(1) 薬剤師認定認証機構プロバイダー認証制度の運用

本会の生涯学習認定制度では、提供する研修企画や共催による研修企画の質を担保し、また、生涯学習プランを円滑にたてられるようにするために、(公社)日本薬剤師会が策定したプロフェッショナルスタンダード(PS)を準用している。そのため認定研修会はPSの到達目標を達成できる内容であることが求められる。

また本制度では、「倫理研修会及び地域保健活動に参加すること」を認定の条件としているのが最大の特徴である。薬剤師の職能と専門性の向上ばかりでなく、こうした職業倫理から発する高い公共心を備えた薬剤師の育成を企図した生涯学習認定制度の設置を目標としている。

①認定研修会等に関する企画・実施・運営を図るために、研修の認定審査、視察、研修開催の周知準備等を行った。

ア 認定研修会 認定研修開催数36回総受講者数
3,047名(会員2,490名、一般557名)

②認定研修会の評価・認定薬剤師の認定等を行った。

ア 旧生涯学習認定制度認定者数 41名
イ 生涯学習認定制度認定者数 10名(平成29年3月含む)

③認定制度の周知等を行った。

ア 研修申請手順書(各研修会配布)
イ よくあるご質問Q&A(ホームページ掲載)
ウ かながわ薬剤師学術大会での認定制度に関する相談コーナーの設置

④認定薬剤師認証研修機関協議会

ア 第20回認定薬剤師認証研修機関協議会
日時：平成29年8月26日(土)14:00～19:00
会場：AP 大阪梅田東 B+C ルーム
内容：

(ア) 2016年度認定薬剤師認証研修機関協議会の事業報告及び決算報告について
(イ) 認定薬剤師認証研修機関協議会の運営体制の見直しについて
(ウ) 研修履修手帳及び研修認定単位シールの規格について

出席：小川副会長、竹内常務理事、鈴木委員長

イ 第 21 回認定薬剤師認証研修機関協議会

日時：平成 30 年 3 月 10 日（土） 14:00～17:00

会場：日本薬学会長井記念館 地下ホール

内容：

（ア）次期役員の選出について

（イ）認定薬剤師認証研修機関協議会規約の改正について

（ウ）認定薬剤師認証研修機関協議会規約に関する細則の改正について

（エ）2018 年度認定薬剤師認証研修機関協議会の事業計画案及び予算案について

（オ）共同広報（薬事日報）の実施について

（カ）2017 年度認定薬剤師認証研修機関協議会の会計報告について

（キ）認定薬剤師認証研修機関協議会の運営体制の見直しについて

出席：阿部理事、菅野理事、鈴木委員長

（2）本会主催及び地域薬剤師会との共催

①倫理研修会の開催

ア 第 1 回倫理研修会（共催 小田原薬剤師会）

日時：平成 29 年 5 月 14 日（日）13：30～：16：30

会場：小田原市保健センター

講演：薬剤師倫理

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 北里大学薬学部 薬学教育研究センター

社会薬学部門教授 鈴木 順子 氏

受講者数：40 名（会員 40 名：一般 0 名）

イ 第 2 回倫理研修会（共催 横浜市薬剤師会）

日時：平成 29 年 7 月 29 日（土）18：00～21：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：日常業務における薬剤師の倫理Ⅱ

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 横浜薬科大学客員教授 高橋 洋一氏

受講者数：28 名（会員 23 名：一般 5 名）

ウ 第 3 回倫理研修会

日時：平成 29 年 12 月 10 日（日）13：00～16：10

会場：ユニコムプラザさがみはら

講演：日常業務における薬剤師の倫理Ⅱ

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 横浜薬科大学客員教授 高橋 洋一氏

受講者数：30 名（会員 25 名：一般 5 名）

エ 第4回倫理研修会

日時：平成30年3月3日（土）17：00～20：15

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：医療従事者における医療倫理とその実践

スモールグループ・ディスカッション（SGD）形式

講師 日本大学 薬学部 教授 鈴木 孝氏

受講者数：36名（会員30名：一般6名）

②新任薬剤師研修会の開催

ア 平成29年度新任薬剤師研修会

日時：平成29年7月8日（土）17：00～20：10

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：

（ア）「実例に学ぶ薬剤師賠償責任保険事故」

講師 損保ジャパン日本興亜㈱ 鈴木 康介 氏

（イ）「薬剤師の倫理」

講師 ファーマシー丸山台 三澤 喜彦 氏

（ウ）「保険調剤について」

講師 （一社）メディホープかながわ川崎すみれ薬局 渡部 幸子 氏

（エ）「いまさら聞けない在宅医療のイロハのイ

～在宅医療・介護保険のポイントについて～」

講師 なかよし薬局 松崎 裕子 氏

受講者数：32名（会員5名：一般27名）

③薬局等開設者研修会の開催

ア 平成29年度 薬局開設者・管理者が受けるべき研修会

日時：平成29年12月9日（土）16：00～19：00

会場：神奈川県総合薬事保健センター 多目的ホール

講演：

（ア）薬局開設者・管理薬剤師が遵守すべき医薬品医療機器等法上における規定について

講師 神奈川県保健福祉局生活衛生部 薬務課薬事指導グループ
グループリーダー 石川 哲也 氏

（イ）問題のある保険請求について（薬歴未記載、つけかえ等）

講師 関東信越厚生局神奈川事務所 保険指導薬剤師 依田 啓司 氏

（ウ）社会から評価される倫理観のある薬局・薬剤師になるためには

講師 神奈川県病院薬剤師会

横浜市立大学附属病院 薬剤部長 佐橋 幸子 氏

㈱夏目薬局 夏目 善文 氏

神奈川県薬剤師会倫理委員会委員 高橋 洋一 氏

受講者数：106名（会員98名：一般8名）

(3) 他団体主催研修会

①医療安全に対する薬剤師の更なる貢献研修会

共催：(公社)小田原薬剤師会、(公社)相模原市薬剤師会、(一社)藤沢市薬剤師会

日時：平成 29 年 4 月 22 日 (土) 15:00～18:30

会場：藤沢商工会館ミナパーク

講演：

(ア) 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等について

～医薬関係者からの副作用等報告の現状と制度の概要等を中心に～

講師 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第一部 情報管理課

課長 見田 活 氏

(イ) 薬剤被害の歴史と現状～薬害被害者の立場から薬剤師に期待すること～

講師 全国薬害被害者団体連絡協議会 代表世話人

大阪H I V薬害訴訟原告団 代表

特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権 理事 花井 十伍 氏

受講者数：58 名 (会員：57 名：一般：1 名)

②相模原市薬剤師会学術研修会の開催

共催：(公社)相模原市薬剤師会

日時：平成 30 年 1 月 16 日 (火) 19:30～21:15

会場：相模原南メディカルセンター 2 階大会議室

講演：

(ア) 相模原市の自殺の状況と自殺対策について

講師 相模原市健康福祉局福祉部精神保健福祉センター 岸川 康子 氏

(イ) 救急医療現場における GABA 作動薬の問題点

講師 埼玉医科大学医学部救急科埼玉医科大学病院 上條 吉人 氏

受講者数：27 名 (会員 23 名：一般 4 名)

③肝疾患コーディネーター研修会の開催

共催：神奈川県

日時：平成 30 年 1 月 27 日 (土) 18:00～21:00

会場：地球市民かながわプラザ会議室

講演：

(ア) 肝疾患の基本的な知識

講師 東海大学医部内科系消化器教授 加川 建弘 氏

(イ) 肝炎治療における薬剤師の役割

講師 聖マリアンナ医科大学病院 丹羽 しおり 氏

(ウ) 肝疾患コーディネーターに期待される役割や肝炎ウイルス検査及び肝炎医療費助成制度等

講師 神奈川県保険福祉局保健医療部がん・疾病対策課

受講者数：61 名 (会員 40 名：一般 21 名)

(4) 平成 29 年度薬剤師生涯教育推進事業 次世代薬剤師指導者研修会の参加

共催：(公社)日本薬剤師会

日時：平成 30 年 2 月 11 日 (日)・12 日 (月・祝)

会場：フクラシア丸の内オアゾ ホール A

研修：

①薬剤師を取り巻く社会情勢と医療等提供体制における役割について

(災害時を含む)

②病院や地域におけるチーム医療に必要とされる医療薬学的知識・技術について

受講者：神原 大輔 氏 (神奈川県薬剤師会)

稲葉 健二郎 氏 (神奈川県病院薬剤師会)

平成29年度認定研修会等及び受講者数一覧(平成29年4月～平成30年3月)

No.	研修名	日程	曜日	時間	受講者数	会員受講者数	一般受講者数	共催団体
1	学校薬剤師研修会	4月9日	日	14:00～16:35	95	91	4	
2	第1回セルフメディケーション啓発推進研修会～総論編～	4月16日	日	14:00～17:30	70	60	10	
3	医療安全に対する薬剤師の更なる貢献研修会	4月22日	土	15:00～18:30	58	57	1	公益社団法人 小田原薬剤師会 公益社団法人 相模原市薬剤師会 一般社団法人 藤沢市薬剤師会
4	第1回倫理研修会	5月14日	日	13:30～16:30	40	40	0	公益社団法人 小田原薬剤師会
5	保険薬剤師のための保険研修会「基礎編」	5月25日	木	14:00～17:00	41	15	26	
6	在宅医療研修会	6月4日	日	14:00～17:30	46	39	7	一般社団法人 横須賀市薬剤師会
7	保険薬剤師のための保険研修会「実践編」	6月25日	日	13:30～16:30	20	14	6	
8	在宅医療研修会	7月6日	木	19:30～21:00	154	108	46	一般社団法人 川崎市薬剤師会
9	新任薬剤師研修会	7月8日	土	17:00～20:00	32	5	27	
10	セルフメディケーション啓発推進研修会	7月23日	日	13:00～18:00	33	30	3	公益社団法人 小田原薬剤師会
11	第2回倫理研修会	7月29日	土	18:00～21:00	28	15	13	一般社団法人 横浜市薬剤師会
12	セルフメディケーション啓発推進研修会～各論編～	9月3日	日	13:00～18:00	23	22	1	公益社団法人 相模原市薬剤師会
13	保険薬剤師のための保険研修会「実践編」	9月7日	木	13:30～16:30	28	15	13	
14	第1回公衆衛生研修会	10月22日	日	14:00～16:00	55	39	16	
15	在宅医療研修会	10月29日	日	13:00～16:00	42	40	2	公益社団法人 小田原薬剤師会
16	認知症対応力向上研修会	11月12日	日	13:00～17:30	75	62	13	
17	保険薬剤師のための保険研修会「実践編」	11月18日	土	15:00～18:00	28	16	12	
18	保険薬剤師のための保険研修会「基礎編」	11月25日	土	18:00～21:00	61	33	28	公益社団法人 小田原薬剤師会
19	第1回高度管理医療機器等の販売業等に係わる継続研修会	11月30日	木	14:00～16:00	207	175	32	
20	第2回高度管理医療機器等の販売業等に係わる継続研修会	11月30日	木	18:00～20:00	159	131	28	
21	在宅医療研修会	12月3日	日	13:00～16:30	63	53	10	
22	薬局開設者・管理者が受けるべき研修会～倫理研修～	12月9日	土	16:00～19:00	106	98	8	
23	第3回倫理研修会	12月10日	日	13:00～16:10	30	25	5	
24	第16回かながわ薬剤師学術大会	1月14日	日	9:30～16:30	725	629	96	公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会
25	薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同研修会							
26	相模原市薬剤師会学術研修会	1月16日	火	19:30～21:15	27	23	4	公益社団法人 相模原市薬剤師会
27	肝疾患コーディネーター研修会	1月27日	土	18:00～21:00	61	40	21	神奈川県
28	第2回セルフメディケーション啓発推進研修会～各論編～	2月4日	日	13:00～17:30	44	38	6	
29	在宅医療研修会	2月15日	木	19:30～21:30	67	56	11	公益社団法人 相模原市薬剤師会
30	在宅医療研修会	2月18日	日	13:00～15:30	58	52	6	一般社団法人 横浜市薬剤師会
31	褥瘡治療薬サミットinかながわ2018	2月25日	日	9:00～16:30	87	64	23	公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会
32	第4回倫理研修会	3月3日	土	17:00～20:15	36	30	6	
33	第3回高度管理医療機器等の販売業等に係わる継続研修会	3月11日	日	10:00～12:00	192	171	21	
34	第4回高度管理医療機器等の販売業等に係わる継続研修会	3月11日	日	14:00～16:00	154	122	32	
35	第2回公衆衛生研修会	3月18日	日	14:00～16:00	58	41	17	
36	薬局ブレアボイド研修会	3月22日	木	19:00～21:00	44	41	3	
合計					3047	2490	557	

2. リスクマネジメントシステムの充実

(1) 薬局プレアボイドの事例収集

薬局プレアボイド事業は、薬物治療において、薬剤師が患者の安全を守るための重要な立場にあり、その業務の「見える化」を図るために極めて有効な事業と考えて事例収集事業を実施した。

① 第3回薬局プレアボイド報告キャンペーン

日 程：平成29年10月1日（日）～10月31日（火）

報告数：157件

(2) 薬局プレアボイド研修会の開催

実際の医療現場で起こっている有害事象の回避についての講演、第3回薬局プレアボイド報告キャンペーンにおいて優秀な報告者を表彰した。

日時：平成30年3月22日（木） 19:00～20:30

会場：神奈川県総合薬事保健センター 1階多目的ホール

講演：薬局におけるプレアボイドについて

講師 昭和大学横浜市北部病院 薬剤部係長 田中 章久 氏

受講者数：44名（会員41名：一般3名）

表彰者：〈神奈川県薬剤師会 委員会奨励賞〉（再掲）

有限会社すずらん薬局センター北店 尾形 真美子 氏

㈱わかば パンダ薬局 北代 玲子 氏

こばやし薬局支店 森村 茂 氏

〈リスクマネジメント委員会 委員長賞〉

ホーゲン薬局

(3) リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少などのため、各地域のリスクマネジャーを集めた会議を8月と9月に開催し、情報交換等を行った。

①第1回 日時：平成29年8月3日（木）開催 19:30～21:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：ア 薬局プレアボイド研修会報告について

講師 薬保会調剤薬局 石井 泰彦 氏

イ 子どもによる医薬品誤飲事故防止対策について

講師 くすりのユニオンファーマシー 村上 和宜 氏

ウ 「みんなでしようプレアボイド報告！～その意義と実践～」

講師 横浜市立大学附属市民総合医療センター 小島 昌徳 氏

②第2回 日時：平成29年9月21日（木） 19：30～21：00 開催

会場：神奈川県総合薬事保健センター

講演：ア 子どもの医薬品誤飲防止啓発ツールについて

講師 くすりのユニオンファーマシー 村上 和宜 氏

イ 第3回薬局プレアボイド報告キャンペーンについて

講師 横浜市立大学附属市民総合医療センター 小島 昌徳 氏

ウ 薬剤師が担う地域医療の中での適正処方に向けて

～保険薬局でのプレアボイド活動～

講師 ㈱わかば さくら薬局 白石 朗 氏

（4）「2017 県下統一調剤事故防止研修会」の実施

11月を中心として、地域薬剤師会を単位とした調剤事故の未然防止及び事故が起きた場合の速やかな対応などに関する「2017 県下統一調剤事故防止研修会」を実施した。

実施地域薬剤師会数：27

受講者総数：1,440

（5）神奈川県病院薬剤師会とのプレアボイド情報交換会

日時：平成30年3月27日（火）19：00～

会場：神奈川県総合薬事保健センター

参加者：県病院薬剤師会 4名 / 県薬剤師会 6名

3. 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及

日本薬剤師会会員を対象として、薬局の有事に備えるため各保険を紹介するべくパンフレット等を配布した。

また、11月24日開催の地域・職域薬剤師会会長協議会において、損保ジャパン日本興亜(株)の担当者より各保険の内容等について説明を行った。

4. 会誌「薬壺」発行事業

薬学・医学領域に関する情報や医薬品情報、厚生労働省・神奈川県等の動向、日本薬剤師会等からの通知、薬業界の話題等を掲載し、薬剤師の学術的資質の向上を促すとともに薬学・薬業の進歩発展に資した。

また、データ化してホームページに掲載することとした。

- ・会誌発行：『薬壺』6回発行（隔月奇数月）
- ・会誌配布先：会員、各都道府県薬剤師会、保健センター、薬科大学、新聞社 他
- ・発行部数等：

発行月	部数	頁数
5・6	5,075	80
7・8	5,045	46
9・10	5,080	70
11・12	5,100	58
H30. 1・2	5,040	78
3・4	5,070	57

5. 会員向けホームページ、メールマガジンの充実

会員ページにおいて会議報告、会員への通知、会員向けツール等のダウンロード、学校薬剤師業務関係ファイルを公開するなど会員の利便に資する活動を行なった。

メールマガジンについては、本年度は58件の情報を配信した。

IV 収益事業

1. 会議室等賃貸業

(1) 会議室の利用状況

＜57 頁参照＞

平成 29 年度の会議室利用状況は合計 1,338 件で、前年度比 94.2%であった。

(2) 賃貸業の利用状況

①横浜市薬剤師会等 9 団体について、29 年度引き続き賃貸した。

なお、11 月 15 日から横浜市薬剤師会が 4 階 403 号室を追加賃貸として開始した。

②ヴェオリア・ウォーター・インダストリーズ・ジャパン(株)（5 階及び 1 階一部）
及び(株)矢野建築設計事務所（3 階 305 号室）について、29 年度引き続き賃貸した。

2. 書籍等販売業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙類の販売を行った。

- ・薬事関係図書の斡旋販売：96 件
- ・用紙類の販売：370 件

3. 当保健センターの修繕等

平成 13 年に開館した当センターの施設維持のため次の修繕等を行った。

- ・西側エレベーターホール床補修工事（7 月）
- ・冷温水発生機 1 号機バーナー及び電装機器交換修繕（7 月）
- ・当センターの樹栽帯に動物の進入を防止するため、敷地の周囲三方に木製の柵を設置した。

神奈川県薬剤師研修協議会事業

1. 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度事業 (神奈川県薬剤師研修協議会)

日本薬剤師研修センターより委託され、研修認定薬剤師制度の認定事務の一部を行った。

(1) 研修認定薬剤師申請業務

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 受付件数 2,454 件、申請件数 2,533 件
(前年度：受付件数 4,301 件、申請件数 3,923 件)

(2) 研修認定薬剤師認定証発送業務

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 申請分発送作業件数：3,550 件
(新規：2,695 件、更新：855 件)
(前年度 新規：1,894 件、更新：702 件)

参 考 資 料

平成29年4月～平成30年3月会場利用状況

月	部屋 時間	ホール			301号室			302号室			303号室			304号室			306号室			307号室			合計			前年度								
		午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	利用率	計	利用率										
4月	外部	2	3	2	7	3	8	2	13	2	3	1	6	4	3	1	8	3	0	4	7	3	6	1	10	21	26	12	59	10%	68	11%		
	内部	1	2	1	4	0	0	1	1	0	1	3	4	0	0	1	1	0	0	3	3	0	0	1	1	1	3	10	14	2%	19	3%		
5月	外部	7	7	4	18	6	5	3	14	0	1	0	1	3	6	2	11	1	2	1	4	3	6	0	9	23	33	12	68	11%	110	19%		
	内部	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	2	4	6	0	1	3	4	0	5	9	14	2%	13	2%		
6月	外部	10	10	1	21	6	6	1	13	1	3	0	4	7	5	2	14	2	3	2	7	4	7	1	12	37	39	9	85	14%	100	16%		
	内部	0	1	1	2	1	0	0	1	0	2	1	3	0	1	1	2	0	1	2	3	0	1	1	2	1	7	6	14	2%	22	4%		
7月	外部	13	14	12	39	4	6	1	11	7	7	3	17	3	5	1	9	2	3	4	9	4	8	1	13	36	48	23	107	18%	130	21%		
	内部	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	3	3	0	0	2	2	0	0	4	4	0	0	4	4	0	0	17	17	3%	29	5%		
8月	外部	17	17	13	47	3	3	1	7	17	18	14	49	1	2	1	4	0	1	1	2	2	4	0	6	41	47	31	119	20%	169	27%		
	内部	0	1	1	2	0	1	0	1	0	1	1	2	1	1	3	5	1	1	4	6	0	0	3	3	3	6	15	24	4%	15	2%		
9月	外部	19	20	9	48	5	10	1	16	10	10	2	22	4	6	4	14	3	5	3	11	0	2	1	3	3	5	0	8	44	58	20	122	21%
	内部	1	1	1	3	0	0	2	2	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0	2	5	7	0	1	3	4	1	4	15	20	3%	25	4%	
10月	外部	14	11	4	29	6	7	2	15	2	2	0	4	3	7	2	12	1	1	2	4	5	6	1	12	34	41	13	88	14%	93	15%		
	内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	3	2	5	0	1	5	6	0	5	9	14	2%	15	2%		
11月	外部	10	15	6	31	3	5	1	9	1	0	0	1	4	7	4	15	2	3	1	6	4	8	1	13	28	45	17	90	15%	62	10%		
	内部	0	2	2	4	0	0	2	2	0	0	3	3	0	2	0	2	0	2	3	5	0	2	2	4	0	10	12	22	4%	18	3%		
12月	外部	10	12	6	28	4	7	2	13	0	0	0	0	0	3	1	4	2	4	4	10	3	6	2	11	19	35	16	70	13%	86	16%		
	内部	0	2	1	3	0	0	0	0	0	1	4	5	0	0	3	3	0	0	5	5	0	0	3	3	0	3	18	21	4%	21	4%		
1月	外部	20	20	13	53	2	6	1	9	10	10	9	29	3	5	3	11	1	1	1	3	0	4	1	5	39	51	31	121	23%	101	18%		
	内部	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1%	4	1%		
2月	外部	18	19	14	51	2	5	3	10	11	11	11	33	4	4	1	9	0	2	4	6	0	3	3	6	39	48	37	124	23%	67	13%		
	内部	1	1	2	4	0	0	1	1	0	1	3	4	0	2	1	3	0	1	5	5	0	0	3	3	1	5	16	22	4%	30	6%		
3月	外部	12	12	6	30	2	8	1	11	3	5	1	9	2	5	1	8	0	0	0	0	1	3	1	5	22	38	11	71	11%	126	20%		
	内部	1	2	3	6	0	1	1	2	1	2	2	5	0	0	2	2	1	2	6	9	0	1	2	3	3	8	18	29	5%	19	3%		
合計	外部	152	160	90	402	46	76	19	141	64	70	41	175	38	58	23	119	14	22	25	61	32	66	12	110	383	509	232	1,124	16%	1,190	17%		
	内部	4	12	13	29	1	2	10	13	1	9	26	36	1	7	14	22	2	13	45	60	0	7	30	37	10	56	148	214	3%	230	3%		

内部は、県薬剤師会の利用です。

利用率の算出方法

1つの部屋の1日利用可能回数を午前、午後、夜間の3としてカウント(メンテナンス等に要する時間等は、カウント除外)

利用率＝利用回数/利用可能回数

平成 29 年度
公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

本年度は、公益社団法人として再スタートを切ってから 5 年目の節目の年度でもあることから、各事業の安定的な運営と質の向上を目指さなければならない。事業の着実な執行を図るためには、これまでの事業を検証する必要がある。そのため平成 25 年 7 月にまとめられた公益法人宣言に掲げられたことを今一度確かめ、一人ひとりの会員が初心に戻り決意を新たにすることが求められる。

したがって、独立した公益社団法人として社会からの要請、時代の要請を的確に把握する必要がある。各々の薬剤師が、社会全般にも目を向け明日の神奈川の地域医療の一翼を担うことを十分に理解し、今何を課題として受け止め、その対処法をどのように導き出すかが求められる。

また、薬剤師に求められる資質の向上については、本会が取り組んでいる生涯学習制度を組織内研修制度から飛躍させ国内に通じる高いレベルの学習システムを構築する。多くの薬剤師が整えられた学習環境の中で、自己研さんを計画的に行なう仕組みは神奈川の薬剤師のスキルアップに大きく寄与するものであり、このことは本会の使命でもあることから着実に推進していく。

一方、本会は薬剤師の職能を発揮する場として薬局の質の担保も目指した。そのため、27 年度に「くすりと健康相談薬局制度」を制定し、28 年度に国が示した「健康サポート薬局」制度に向けた研修などで支援も行った。こうした県民の期待に応える公益性の高い業務に取り組んできたことは当会の先進性の表れであり、在宅医療・介護事業・認知症対策への取り組みとともに「県民のための薬局・薬剤師」を念頭に置き地域薬剤師会と協力し引き続き事業を推進していく。

こうした取り組みの他にも当会の目的を達成するために必要な事業も数多くあり会員の協力を得て事業を推進していく。

さらに、行政や他の薬業団体・医療関係団体等に対しても連携を図りつつ、本会の理念に基づく提言等を発信することなど必要とする業務に積極的に取り組んでいく。

重点事業

1. 薬学・薬業の進歩発展に関する事業
2. 児童・生徒等に対する事業
3. 医薬品適正使用に関する事業
4. 医療安全に関する事業
5. 公衆衛生に関する事業
6. 地域医療に関する事業
7. 薬剤師の生涯教育及び倫理研修会開催事業

平成 29 年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

公 1-1
薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学会大会の開催
2. 日本薬剤師会学会大会への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
- ⑨・研究者向け教育・研修 資材の作成
5. 薬学生育成に関する事業

公 1-2
児童・生徒等に関
する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. シンナー等薬物乱用防止啓発
 - ・小・中高生向け教材「ダメ、ゼッタイ」リーフレット増刷
 - ・食物アレルギーリーフレット増刷
3. 医薬品適正使用教室の推進
 - ・資材購入
4. 学校保健向上事業
- ⑨・学校薬剤師研修会の開催

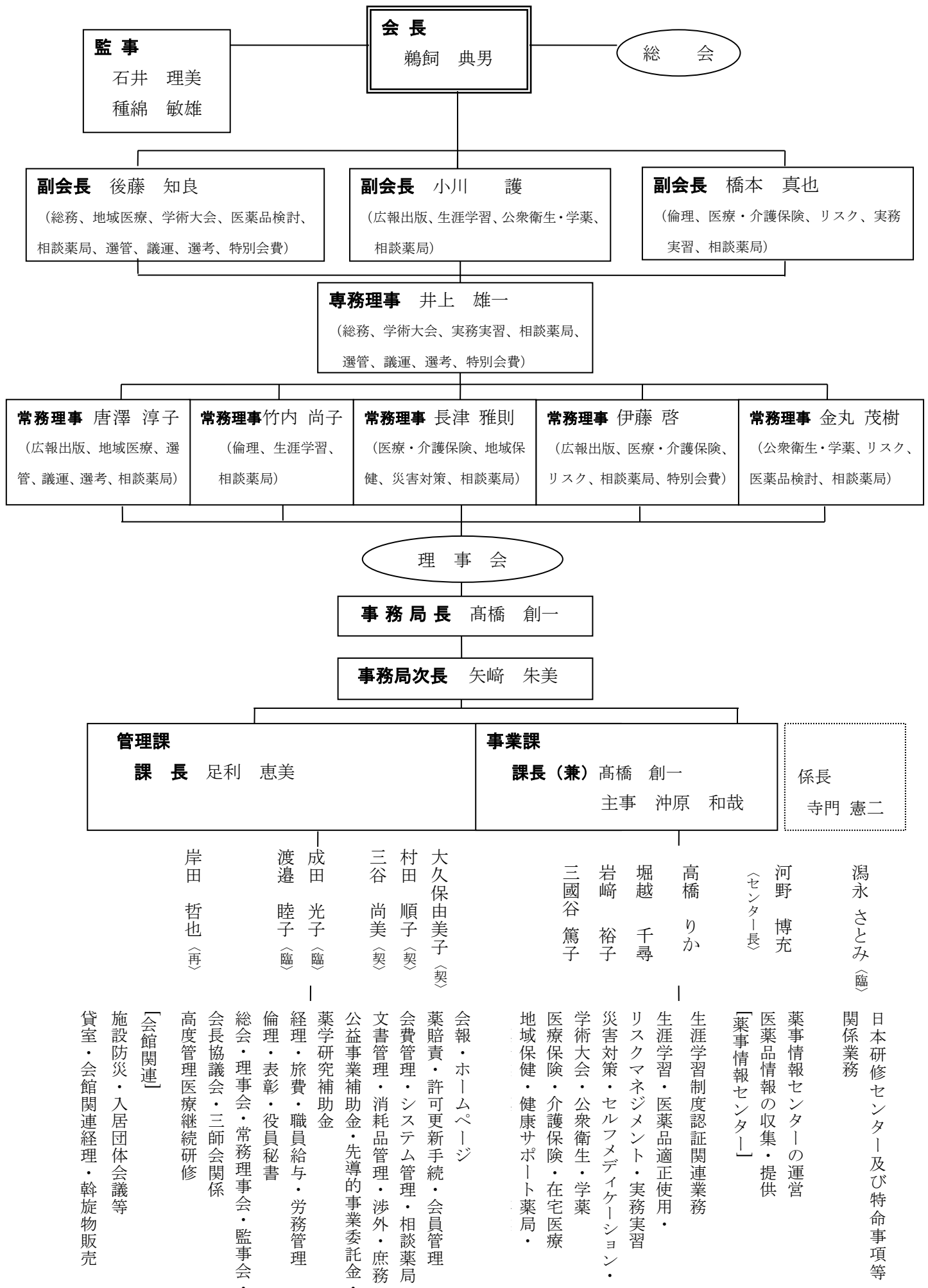
公 1-3
医薬品適正使用に
関する事業

1. くすりと健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
 - ・県民対象の医薬品情報出前講座への講師派遣
4. セルフメディケーションの推進
 - ・資材の作成・推進のための広報
 - ・健康測定機器による健康相談の推進
 - ・啓発グッズ作成
 - ・薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催
 - ⑨・セルフメディケーション啓発研修会の開催(地域との共催)
5. くすりと健康相談薬局の推進
 - ・認定証交付
 - ・チラシ・ステッカー・グッズ作成・購入
6. 薬事情報センターの充実
 - ・医薬品・健康保険制度等に関する相談・情報提供

公 1-4
医療安全に関する
事業

1. 神奈川医療安全推進セミナーへの参画
- ⑨ 2. こどもの医薬品誤飲防止啓発リーフレットの作成及び周知
3. 高度管理医療機器継続研修会の開催
4. 薬害関連資料収集検討
5. 多重受診防止対策及び偽造処方せん対策の推進
 - ⑨・ポスターの作成

公 1-5 公衆衛生に関する 事業	1. 献血事業への協力、推進 2. 薬物乱用防止の啓発 ・街頭キャンペーン ・危険ドラッグ啓発グッズ作成 ・危険ドラッグ対策事業補助（再掲） ⑨ ・アンチドーピング対策 3. 公衆衛生に関する県民向け研修会の開催 4. かながわ健康財団等事業への参画
公 1-6 地域医療に関する 事業	1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進 ・在宅医療推進研修会の開催 ・在宅医療支援薬局リストの作成 ・認知症対応力向上研修会の開催 2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上 ・県病薬との合同研修会の開催 3. 後発医薬品の使用促進 ・県民向けリーフレットの増刷 4. 医薬分業の質的向上 ⑨ ・かかりつけ薬局・薬剤師リーフレットの増刷 ・保険研修会の開催 ⑨ 地域との共催 5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援（HP 等対応） 6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実 ⑨ 7. 健康サポート薬局関連事業の推進（研修会開催等）
公 1-7 災害時医療救護 活動に関する事業	1. 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施 2. 災害用備蓄品の整備 3. マニュアルの改訂
2 法人組織運営に 関すること	1. 総会、理事会等開催など 2. 組織強化と財務の健全化 ・公益法人運営特別会費検討特別委員会の開催 3. 会員管理
3 共益事業	1. 薬剤師の生涯学習の推進 ⑨ ・薬剤師認定認証機構プロバイダー認証制度の運用 ・倫理研修会の開催（地域薬剤師会との共催を含む） ・新任薬剤師研修会の開催 ・薬局等開設者研修会の開催 2. リスクマネジメントシステムの充実 ・薬局プレアボイドの事例収集 ・薬局プレアボイド研修会の開催 3. 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及 4. 会誌「薬壺」発行事業 5. 会員向けホームページ、メールマガジンの充実
4 収益事業	1. 会議室等賃貸業 2. 書籍等販売業



平成29年度 神奈川県薬剤師会委員会 委員名簿

平成30年3月31日現在

委員会	担当副会長	担当専務・ 常務理事	担当理事	委 員（◎委員長 ○副委員長）	担当課
倫 理	橋本 真也	竹内 尚子	金子 弘之 高橋 良二	高橋 洋一 大森 正樹 安藤 典幸 綾部 由紀乃 武藤 一久 ◎上村 直樹 ○今井 澄江 河野 博充 小橋 紀子	管理課
総 務	後藤 知良	井上 雄一	嶋 元 寺師 三千彦	前田 成隆 荒澤 実 市川 浩 ○山田 修 菅野 宏一 米山 和久 ◎小宮 賢一 鶴 恒雄	管理課
広報出版	小川 護	唐澤 淳子 伊藤 啓	嶋 元 今井 裕久	星野 高志 吉川 武寿 石渡 宏衛 ○関根 澄江 高梨 純子 菅沼 賢吾 飯田 京子 小高 賢一 ◎森嶋 まつ子 高橋 洋一	管理課
生涯学習	小川 護	竹内 尚子	阿部 正隆 菅野 君子	○三澤 喜彦 笹谷 康子 友田 健 馬淵 彰三 ◎鈴木 良雄 杉崎 薫 黒岩 美枝 細谷 治 三溝 和男 武立 啓子 吉山 友二 山村 重雄 金 龍哲	事業課
医療・介護保険	橋本 真也	長津 雅則 伊藤 啓	阿部 正隆 佐藤 克哉 夏目 善文	◎藤本 直樹 西山 宰生 ○川村 幸久 河野 一規 ○福嶋 仁 相澤 ゆみ 大岡 元 野田 和多流 荒木 稔 小林 きぬ子 大島 正 松崎 裕子 小林 弘忠 瀧本 淳	事業課
公衆衛生・学薬	小川 護	金丸 茂樹	金子 弘之 牛腸 裕介	濱地 優作 ○油谷 由美 八木 洋子 和田 野歩 ◎紫藤 茂雄 深井 則雄 ◎神原 大輔 小泉 貴子 関根 寿樹 大澤 佳奈子 久田 真二 渡邊 千括	事業課
地域保健	後藤 知良	唐澤 淳子 長津 雅則	向井 秀人 佐藤 克哉 夏目 善文 久保田 充明	田中 大嗣 林 直子 堀川 壽代 宇井 敬 澤田 弘之 鷺山 毅 ◎塚本 久美 ○大島 崇弘 鈴木 大介 市川 和子 樋島 学 黒澤 淑子	事業課
リスク マネジメント	橋本 真也	伊藤 啓 金丸 茂樹	坂本 悟 山形 光正	佐伯 達也 ○石井 泰彦 ◎金 泰烈 飯沼 薫 竹本 裕治 森井 広樹 臼井 友章 新田 淳史 村上 和宣 小川 亮子 三堀 賢太郎 太田 美智子 荒井 俊明 小島 昌徳 植村 知子 原 和夫	事業課
学術大会 実行	後藤 知良	井上 雄一	山形 光正 岩出 信幸	野村 清司 高橋 恵巳子 ○遠藤 友香 ◎中村 正樹 鈴木 康生 寺仙 智子 齋藤 邦夫 清水 一恵	事業課
実務実習	橋本 真也	井上 雄一	坂本 悟 久保田 充明	永持 健 石川 弓子 渡辺 太 ◎木村 久美子 河野 和宏 石黒 哲夫 大久保 敦子 ○片山 周也 熊井 佳子 駒井 元彦 廣原 正宣 ○山 栗原 順一 難波 昭雄 川上 美好 須田 哲史	事業課
医薬品適正 使用検討 （三師会等）	後藤 知良	金丸 茂樹			事業課
「くすり与健康 相談薬局」 制度運営協議会	後藤 知良 小川 護 橋本 真也	井上 雄一 全常務理事		○石川 哲也 ◎福島 紀子 天野 宏 今井 澄江 高橋 洋一	管理課
災害対策 検討委員会	後藤 知良	長津 雅則	寺師 三千彦 阿部 正隆	石井 哲人 藤原 文子 ◎大木 昭子 越田 良仁 石川 弓子 ○菅野 宏一 橘 津義 金林 茂 中嶋 慈夫 常盤 孝司 田村 英樹	事業課
代議員 選挙管理	後藤 知良	井上 雄一 唐澤 淳子		吉原 睦子 鈴木 康久 ◎越田 良仁 ○森島 一機 岡野 克樹 中村 朋子 小林 きぬ子 石内 正佳 井上 哲男 渡邊 浩一 高柳 栄郎	管理課
議事運営	後藤 知良	井上 雄一 唐澤 淳子		◎石渡 宏衛 井上 恒男 二宮 三嘉 八鍬 広幸 大岡 元 ○泉 紀久恵 後藤 君代 今井 和成 渡邊 幸一 矢野 光恭 金田 光正	管理課
総会議長等選考	後藤 知良	井上 雄一 唐澤 淳子		◎石渡 宏衛 井上 恒男 二宮 三嘉 八鍬 広幸 大岡 元 ○泉 紀久恵 後藤 君代 今井 和成 渡邊 幸一 矢野 光恭 金田 光正	管理課
公益法人運営特別 会費検討委員会	後藤 知良	井上 雄一 伊藤 啓		高木 健司 大村 卓 嶋崎 真義 山田 修 ◎山下 耕司 石黒 哲夫 大久保 敦子 ○今井 和成 原 延正 石井 豊	管理課

敬称略